成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-①	各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合	%	28.6	39	36.8		35	190.7%	目標達成
			計画値					
			30.7	32.9	35			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
令和5年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば」の使用頻度について、挨拶程度以上使うとした人の割合は、36.8%であり、令和4年度（39.0%）から減少しているものの、成果指標で定める令和5年度の計画値32.9%を上回っている。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	「各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進」の施策に係る「主な取組」において、計画で掲げた目標値をほぼ達成していることから、各種取組を多角的に推進した結果、「しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合」の計画値達成に繋がっている。							
対応案								
令和6年度以降もしまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組む。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	「しまくとぅばアーカイブ」の作成	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	<p>文法調査票88冊、教材の作成1セット、歌50曲、文学的文章50編、自然談話2話の収集・収録を計画通り行った。</p> <p>収集した調査票等については、受託者HP等で公開することとしているため、地域ごとのしまくとぅば活用に関しても資するものとなっており、成果指標に寄与している。</p>				
要因分析	計画通り進捗ができたこと。				
対応案	<p>収集対象地域の話者の高齢化により、今後調査を進める上で、収集地域の変更等が必要となってくる場合が想定されるため、県、受託者、対象地域の話者との連携を密にする。</p>				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとぅばに関する各種啓発の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	<p>目標値10個人・団体に対し、功労者表彰数は、個人8名、団体2団体であった。</p> <p>しまくとぅば普及功労者表彰制度は、地域における「しまくとぅば」の普及に功績のあった個人及び団体等に対して県知事から表彰するものであり、当該表彰者を多く輩出することが、各地域のしまくとぅば使用頻度向上にもつながっている。</p> <p>その観点から、成果指標へ寄与したと言える。</p>				
要因分析	計画通り進捗できたこと。				
対応案	<p>しまくとぅば県民大会への来場者数をより増やすため、ステージ構成を工夫するとともに、各種SNSを活用した告知を積極的に行い、情報発信の強化を図る。</p>				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとぅば講師養成講座の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	<p>目標値60回に対し、講座の実施回数は、八重山上級24回、宮古初級27回の計51回であり、「順調」と判定する。 そのうち、合格者は37名でしており、今後のしまくとぅばの普及継承の一翼を担う人材の育成に寄与した。</p>				
要因分析	計画どおり進捗できたこと。				
対応案	オンライン聴講者数の増加を図るため、情報発信を強化し、しまくとぅば講師養成講座の認知度向上につなげる。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとぅば出前講座の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	<p>目標値として、応募による講師派遣講座10件、モデル事業5件に対し、両事業とも実施件数（講師派遣講座18件、モデル事業5件）を満たしているため、成果指標へ寄与していると言える。</p>				
要因分析	計画どおりの進捗ができたこと。				
対応案	「しまくとぅば講師派遣」のさらなる認知度向上を図るため、講師養成講座を修了した講師による実践講座の回数を増やし、効率的なしまくとぅば普及継承を展開する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとぅば検定の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	会場検定者数及びEラーニングの視聴回数の合計は、目標値に達していないものの、Eラーニング開始から1週間程度で視聴回数338回と記録されており、一定程度成果指標へ寄与していると言える。				
要因分析	7級～9級の初心者層向けの検定をとりやめ、Eラーニングの視聴に変更したが、Eラーニングの開始が3月21日と年度末であったことが、進捗遅れの原因となっている。				
対応案	Eラーニングを広く活用してもらうため、学習意欲を駆り立てる広報物を発行するなど、情報発信を強化する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	普及に取り組む団体等への支援	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	目標値8団体に対し、しまくとぅばの普及効果が期待できる事業を応募13団体の中から8団体採択した。採択された8団体の事業は、講座、公演、大会・コンテストなど多岐にわたり、幅広い年齢層が楽しめる内容で実施され、多くの県民がしまくとぅばに親しむことができ、普及継承に寄与したと判断する。				
要因分析	計画どおりの進捗ができたこと。				
対応案	補助金交付決定後においても、積極的に経理上の留意点などを各団体へ周知し、各団体が補助事業を円滑に執行できるようサポートする。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとぅば普及センターによる相談業務の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	目標値120件に対し、相談対応件数は164件であり、「順調」と判定する。 小中高の学生から高年齢の方々まで、幅広い年齢層から問い合わせ対応を行い、しまくとぅばの普及継承に寄与している。				
要因分析	計画どおりの進捗ができたこと。				
対応案	総合窓口機能を広く活用してもらうため、「しまくとぅば普及センター」の取組活動をWEBサイトやSNSを活用し、積極的に発信する。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-②	伝統芸能の継承・発展						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数	人	4,750	35,783	368,318		12,000	7,517.9%	目標達成
			計画値					
			7,164	9,586	12,000			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
各種公演が開催されることで、参加者が増加し、目標値を達成した。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	各種公演が開催されることにより、伝統芸能の魅力発信、鑑賞機会の提供、若手実演家の育成等を通じた、伝統芸能の継承と発展に寄与することができた。							
対応案								
引き続き、各種県外公演の開催にむけて関係団体を支援していく。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組				
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能の県外公演	対応課 文化振興課
成果指標への寄与の状況	長野公演に151人が参加し、県外に伝統芸能の魅力発信をすることで、伝統芸能の継承と発展に寄与することができた。			
要因分析	本県と交流推進協定を締結している長野県を開催することで、長野県庁の後援により幅広い広報協力が得られたが、県人会等のない地域において集客に苦慮した。			
対応案	講演周知の期間、周知の方法等、手段を強化し、開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫する。			
関連する主な取組				
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能の海外公演	対応課 文化振興課
成果指標への寄与の状況	海外公演に208名を集客した。			
要因分析	円安の影響で予算が圧迫し、広報面で不十分となった。			
対応案	公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化する。			
関連する主な取組				
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能公演への支援	対応課 文化振興課
成果指標への寄与の状況	国立劇場おきなわや各市町村と連携しかりゆし芸能公演を20公演実施し、国立劇場おきなわ公演における入場率が令和4年度59.1%から令和5年度73.9%に増加した。			
要因分析	令和5年度に実施した国立劇場おきなわ公演の入場率は73.9%と前年度から11.2ポイント増加したが、さらなる入場者数の確保を図るため、広報活動を行い情報発信していく必要がある。			
対応案	公演実施団体による広報活動だけでなく、文化振興会においてもSNS等による広報活動を図り、観光客を含めた誘客の強化を図る。			

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-③	伝統文化の保存・継承・発展						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
市町村文化協会会員数	名	11,844	10,737	11,224		14,000	-43.1%	達成に努める
			計画値					
			12,562	13,282	14,000			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
<p>市町村文化協会会員数は、会員の高齢化により年々減少傾向にあることに加え、直近の令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による地域の文化活動の休止に伴い、更にその会員数を減少させている。今後も高齢化等により担い手の減少が見込まれる中においては、まずはコロナ禍の前の水準に戻した上で、コロナ禍前（令和元年度）の活動水準を維持することを最優先に取り組み、目標達成に努める。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑪ 高齢化・後継者不足	会員の高齢化により年々減少傾向にある。							
⑫ 社会経済情勢	新型コロナウイルス感染症の影響による地域の文化活動の休止に伴い、更にその会員数を減少させている。							
対応案								
<p>今後も高齢化等により担い手の減少が見込まれることから、コロナ禍前（令和元年度）の活動水準を維持することを最優先に取り組み。文化協会の活性化を図り、県内各地域における次世代の担い手の育成や伝統文化の魅力を再認識させる取組を行うことで、伝統的な文化の継承を図る。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	地域伝統芸能を集めた公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	公演に出演する文化団体と市町村文化協会との連携強化が図られるとともに、公演の観覧者が市町村の文化活動に関心を持つことに繋がったと考えられる。				
要因分析	各地域の伝統文化の魅力を再認識してもらうことにより、一定程度、伝統的な文化の保存・継承に寄与したものと考えられる。				
対応案	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、地域の伝統芸能等を集めた公演を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	座談会の開催を通じて、市町村の文化活動に関心を持つことに繋がったと考えられる。				
要因分析	地域の伝統芸能等に関するテーマを取り上げた座談会の開催を通じて、一定程度、伝統的な文化の継承に寄与したものと考えられる。				
対応案	引き続き、地域の伝統文化を見つめ直すよう機運醸成を図る。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-①	創造的文化芸術の発展を担う人材の育成						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
沖縄県立芸術大学の卒業生数（累計）	人	4,011	4,303	4,452		4,542	124.6%	目標達成
			計画値					
			4,188	4,365	4,542			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
<p>計画値を上回る卒業生数となった。引き続き、大学運営の改善を行うほか、施設整備を計画的に実施するなど、良好な教育環境の確保に努める。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	合同企業説明会の開催や、運営費交付金の交付を通じて、良好な教育環境の確保に努めた。							
対応案								
<p>引き続き、大学運営の改善を行うほか、施設整備を計画的に実施するなど、良好な教育環境の確保に努める。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	九州芸術祭（文学賞）の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	九州芸術祭文学賞に県内から24作品の応募があり、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に寄与した。一方、若い世代の応募が少なく、成果指標への直接的な寄与は限定的である。				
要因分析	ポスター、チラシによる周知が主であるが、若い世代に認知されにくいものと考えられる。				
対応案	応募件数が少ない若年層への広報周知を強化するため、ホームページやSNS等を活用した情報発信を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学における就職支援	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	合同企業説明会の開催を行った。就職が決定した学生は、より学業に専念できることから、卒業に繋がったと考えられる。				
要因分析	合同企業説明会の開催など、就職支援としてキャリア教育を実践することで、一定程度、卒業者数の増につながったものと考えられる。				
対応案	引き続き、合同企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	運営費交付金の交付を通じて大学の運営支援を行うことにより、安全かつ安心な教育研究環境の整備を行い、学生の学修意欲や教育効果を高めることができたと考えられる。				
要因分析	学長となる理事長のトップマネジメントにより、法人全体の視点に立った迅速な意思決定や、効果的かつ効率的な予算等の配分など、戦略的で機動的な業務運営が行われている。				
対応案	引き続き、運営費交付金の交付を通じて財務面で大学の運営支援を行うことにより、安全かつ安心な教育研究環境の整備を行っていく。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-②	県民等の文化芸術活動の充実						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
国立劇場おきなわの入場者数	人	16,156	35,608	35,080		54,800	73.4%	目標達成の見込み
			計画値					
			29,024	41,932	54,800			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
令和5年度の入場者数は35,080人であり、目標値に達してはいないが、入場率向上のための広報等を行うことにより目標達成の見込みである。								
要因分析								
類型	説明							
⑤ 周知・啓発不足等	令和4年度に比べて令和5年度の来場者数が伸び悩んでいる。鑑賞者の層が高齢者に偏っており、若い世代への周知・啓発が必要である。							
対応案								
入場率の向上を目指し、国立劇場おきなわでの組踊鑑賞教室やワークショップ等の取り組みを強化し、初めての鑑賞や若い世代の鑑賞につなげる。 また、多くの県民に、文化芸術に触れる機会を提供するための取り組みを行っていく。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	国立劇場おきなわでの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施したことで、伝統芸能鑑賞につなげることができた。				
要因分析	貸切バス費用の助成等を実施したことで、普段伝統芸能の鑑賞層を広げるとともに、鑑賞者の増加にもつながったと推測される。				
対応案	オーバーツーリズムの影響により貸し切りバスの手配が難しい状況が起こる可能性があるため新たな手法を検討し、事業鑑賞層の拡大に繋げる取り組みを実施する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	北部・離島地域における文化芸術体験を通して、沖縄芸能の良さを体感してもらえた。				
要因分析	アンケート結果によると、今後鑑賞したい舞台として、沖縄芝居（55.77%）、伝統芸能（51.92%）、歌舞劇（50%）の回答となった。				
対応案	沖縄の伝統芸能に触れる機会を創出する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	沖縄県芸術文化祭の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	展示場へ、延べ7000人の来場があり、成果指標に一定程度寄与することができた。				
要因分析	多くの県民に、文化芸術に触れる機会を提供することができた。				
対応案	引き続き、沖縄県芸術文化祭において、作品の募集・展示を行い直接文化芸術に触れる機会を創出する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	九州芸術祭（舞台公演）の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を令和5年11月1日に金武町立中央公民館で行い、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供することができたことで、成果指標へ一定程度寄与したと考える。				
要因分析	多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できた				
対応案	引き続き、重要無形文化財保有者等による舞台公演を行い、文化芸術に触れる機会を提供する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	県内市町村等の文化芸術に対する支援の促進	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業に対し4件の助成が行われたことで、地方公共団体等の文化振興の発展を通じて成果指標に寄与したものとする。				
要因分析	文化の担い手は小さい団体が多く、独力での事業実施に限界があるため、財団等による支援に対するニーズが高いと考える。				
対応案	引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能を集めた公演等の自主事業を支援する。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-③	文化資源を活用した地域づくり						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数	件	115	127	73		142	-233.3%	達成に努める
			計画値					
			124	133	142			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
<p>市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査が遅れ、連携できる事業が終了していたため件数が減少した。市町村や関連団体とともに関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深められた。また、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を県民自らの手で創造していくことを図ることができた。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑧ 他の事業主体の取組進展	市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査が遅れ、連携できる事業が終了していたため件数が減少した。							
対応案								
事業の調査時期を早めることにより実施件数を増やし、関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を52件実施し、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組んだことにより、成果指標の目標に寄与した。				
要因分析	令和3年度から同取組を行っているが、「琉球歴史文化の日」の県民の認知度が低い。				
対応案	事業の調査時期を早めることにより実施件数を増やし、「琉球歴史文化の日」について情報発信等により県民の認知度を上げることで、文化資源を活用した地域づくりにつなげる。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化団体が宿泊施設等で実施する文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)の実施を4件支援し、成果指標に寄与している。(実施回数4件、来場者数約8,700人)				
要因分析	文化体験プログラムの実施により、文化団体の活動機会を確保するほか、文化団体等と宿泊施設等観光事業者をつなぐことにより連携が促進され、今後の文化活動の機会の増が見込まれる。				
対応案	文化体験プログラムについて、これまで以上に観光事業者等へ周知を図ることにより、文化体験プログラムの実施回数や参加者数の増加を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	文化芸術関係団体等への助成	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	県内文化団体等へ21件の助成を行うことにより、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	補助事業の内容について、説明会やセミナーの開催等で周知を図ることで、支援件数を確保することができた。				
対応案	引き続き、企業の文化芸術に対する支援を促進することで、文化芸術活動を支える基盤の強化を図る。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-④	文化芸術活動を支える基盤の強化						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県内文化施設の稼働状況	%	31.6	54.9	54.9		55	149.4%	目標達成の見込み
				(令和4年度)				
			計画値					
			39.4	47.2	55			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
<p>○実績値は調査中。 ○実績値は6月末に確定の見込み。 ○現時点で把握している令和4年度の実績値54.9%によると、目標値の達成率が99.8%であること、また、令和2年度の基準値と比較すると1.73倍の伸長となっていることから、目標達成が見込める。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	実績値の更なる伸長のため、県内文化施設の稼働率向上に向けた取組を実施していく必要がある。							
対応案								
文化発信交流拠点の充実に向けて、令和5年度の調査で得られた結果等を精査しつつ、より効果的な施策を検討する。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	沖縄県立博物館・美術館の管理運営	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄の文化芸術発信拠点として開館後17年目を迎える。コロナ禍が終息したことで年間を通して開館し、コロナ禍前と同様の各種取組・情報発信を行った。合わせて施設の修繕等にも取り組み適正な管理運営を行った。				
要因分析	コロナ禍前と同様の通常開館、各種取組、情報発信の結果、来館者数が大幅に増加している。				
対応案	今後も資料の収集と調査研究に基づいたより良い展示・教育普及活動に取り組むとともに、来館者サービスの向上を目指し施設の修繕等にも計画的に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	美術館資源発信基盤整備事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	整理した資料のうち、1件について外部から資料の閲覧申請があり、外部研究者の要請に応えるものとなったが、資料群を発信するための基盤が未整備であるため、申請件数が少数にとどまり、十分に資料群の存在が認知されていない状況である。				
要因分析	本事業は最終的にオンラインデータベースを整備し、資料群の発信をすることを目標としているが、オンラインデータベースの整備に向けての調整に時間がかかっており、未整備の状況である。				
対応案	オンラインデータベースを介した資料群の公開をすることで、美術館資源の発信基盤を強化し、美術館の利用者数の向上、および外部研究者による閲覧件数の向上を実現することで、稼働率の向上に寄与する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	令和5年度は、琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等について、4件県有施設の無料開放を実施した。				
要因分析	施設を開放し文化関連イベントを実施することで、県民の文化への関心が高まり、文化施設稼働率の向上に寄与している。				
対応案	琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施することにより、県民の文化への関心を高め、イベントの増につなげていく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	文化発信交流拠点の充実	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	令和5年度は、文化発信交流拠点の充実に係る調査委託業務を実施し、県内文化施設の稼働向上等、文化発信交流拠点の充実に資する効果的な施策が提案された。				
要因分析	成果指標への寄与は、後年度となる。(調査業務実施後)				
対応案	文化発信交流拠点の充実に向けて、令和5年度の調査で得られた結果等を精査しつつ、より効果的な施策を検討する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	企業の文化芸術に対する支援の促進	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業に対し15件の助成が行われ、公立文化施設の利活用推進に寄与した。				
要因分析	文化の担い手は小さい団体が多く、独力での事業実施に限界があるため、財団等による支援に対するニーズが高いと考える。				
対応案	引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能を集めた公演等の自主事業を支援する。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-①	沖縄空手の指導者及び後継者の育成						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県内空手道場における門下生数（1道場あたりの平均）	人	32	23.1	23.1		36	-296.7%	達成に努める
				(R4年度)				
			計画値					
			33	35	36			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
令和5年度時点の門下生数について、県内道場へのアンケート調査にて調査中。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	指導者の育成を図ることで門下生数の増加にも寄与するものであるが、門下生数の減少は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年は成果指標が未達成となっている。							
⑦ 人手・人材の確保	空手に興味を持った子供たちが、近隣の道場へ通うきっかけとなるよう、近隣の市町村に道場を持つ指導者を学校・保育所等へ派遣している。しかし、子ども向けに指導できる指導者が不足しており、派遣者選定に課題が残った。							
対応案								
引き続き、指導者の育成を継続的に行っていく。特に、幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう保育所等専門指導者育成セミナーを開催する。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	指導者の育成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	<p>沖縄空手の各流派に通底する沖縄空手の本質、共通する鍛錬法や指導方法などを取りまとめ、県内若手指導者が空手入門者に指導する際の体系書を策定することで、道場の指導体制が強化され、門下生の増加に寄与している。</p>				
要因分析	<p>指導者の育成を図ることで門下生数の増加にも寄与するものであるが、門下生数の減少は新型コロナウイルス感染症の拡大により空手道場の活動が制限された影響が考えられる。</p>				
対応案	<p>引き続き指導者の育成を図ることが必要であり、当事業を継続的に取り組んでいく。</p>				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	学校への講師の派遣	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	<p>幼少期から空手体験機会を創出し空手道場門下生数の増加に寄与するため、県内小中高校等へ空手指導者を派遣し、出前講座を実施している。令和5年度は県内保育所等19校、小学校5校、中学校1校に空手指導者を派遣し、計1,263名の児童生徒が参加した。</p>				
要因分析	<p>派遣先の学校に対して、近隣の市町村に道場を持つ指導者を派遣したが、子ども向けに指導できる指導者が不足しており、派遣者選定に課題が残った。</p>				
対応案	<p>幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう保育所等専門指導者育成セミナーを開催する。</p>				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	巡回展の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	<p>沖縄空手について収集した関係資料を紹介する巡回展を開催し、広く県民に向けて情報発信を行うことで、沖縄空手の関心を高め、県内空手道場の入門などへつなげた。</p>				
要因分析	<p>巡回展の開催により、広く県民に対して沖縄空手への関心を高めることにつながるが、門下生の増加に寄与するまでの動機付けには至っていない。</p>				
対応案	<p>巡回展の開催により、広く県民に対して情報発信を行い、沖縄空手の関心を高めていくとともに、第2回沖縄空手少年少女世界大会と連携した体験企画の充実を図ることで、沖縄空手への関心を高め、門下生数の増加につなげていく。</p>				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-②	沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率	%	36.8	30.8	30.7		55	-50.4%	達成に努める
			計画値					
			42.9	48.9	55			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
<p>県外で開催される物産展・旅行展での空手演武等を行うイベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベント外（観覧していない人、イベント開催地以外の地域）の一般層への普及活動ができていないため、目標達成に至らなかった。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑤ 周知・啓発不足等	<p>県外で開催される物産展・旅行展での空手演武等を行うイベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベントを観覧していない人やイベント開催地以外の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信を行う必要がある。</p>							
対応案								
<p>県外イベントでの空手演武を実施するにあたって、より多くの人々に観覧してもらえるよう情報発信を行うとともに、SNSの活用や沖縄空手映像コンテンツ制作等、イベント外の一般層にも普及できるよう広報の充実を図る。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	国内外の空手愛好家の受入	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手案内センターHPにおいて、沖縄空手に関する大会やセミナー等の情報を随時公開しており、国内外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率の向上を図っている。				
要因分析	沖縄空手案内センターHPや沖縄空手ナビ、空手ツーリズムHPなど、沖縄空手に関するウェブコンテンツが複数あり、一般の方からは使い分けがわかりにくい。				
対応案	他事業とも連携し、各ウェブコンテンツの対象者・内容等が一見してわかるような構成を検討し、改善を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	沖縄空手の普及・啓発	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	新型コロナウイルス感染症の影響から、県外でのイベント開催が十分に実施できない状況となっている。6月に開催された「沖縄めんそーれフェスタ in サンシャインシティ」での空手演武ステージおよびPRブース出展においては、440名が来場者アンケートに回答し、うち34.3%の方が空手発祥の地が沖縄県であることを認知していた。				
要因分析	イベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベントを観覧していない人やイベント開催地以外の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信する必要がある。				
対応案	イベント開催地以外の一般層への普及活動が不十分なため、SNS広告等を活用して県外に幅広く情報発信する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	沖縄空手関連コンテンツの制作	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	映像制作会社・メディア等と連携し、沖縄空手映像コンテンツの制作・県内外への発信を行うことで、「空手発祥の地・沖縄」のPRに繋がる。また、沖縄空手の体験や関連史跡のツアーなどの空手ツーリズム商品を造成することで、国内外の観光客や空手愛好家等に伝統文化としての沖縄空手を知ってもらい、「空手発祥の地・沖縄」の認知率向上に寄与する。				
要因分析	<ul style="list-style-type: none"> ○空手映像コンテンツ制作については、事業者からの応募が少ない。 ○空手ツーリズム商品の造成について、より多くの観光事業者に参画してもらう必要がある。 				
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ○空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、事業を休止する。今後は、空手ツーリズム商品の造成に力を入れて取り組んでいく。 ○より多くの観光事業者向けに参画してもらえよう、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。 				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-③	沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県外・海外からの空手関係者来訪数	人	71	1,971	9,228		12,700	108.7%	目標達成の見込み
			計画値					
			4,276	8,495	12,700			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
令和5年5月より新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことにより、国内外からの空手関係者来訪数が増加している。令和6年8月には沖縄空手少年少女世界大会を開催予定であることから、令和6年度はより多くの空手関係者の来訪が見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	令和6年度に開催する「沖縄空手少年少女世界大会」は、コロナ後に開催する最初の大会であることから、県外・海外からの参加者数についても前回大会より増加が見込まれる。							
対応案								
国内外からの参加者等の記念になるよう、開閉会式、フェアウェルパーティー等について規模を拡充して実施するとともに、大会参加以外の日も楽しめるよう空手フェスティバルを開催することで、大会参加者の満足度向上を図り、再来訪を促進する。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手世界大会の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手世界大会及び沖縄空手少年少女世界大会を開催することで、県外・海外からの空手関係者来訪数の増加に寄与する。				
要因分析	令和6年度に開催する「沖縄空手少年少女世界大会」は、コロナ後に開催する最初の大会であることから、県外・海外からの参加者数についても前回大会より増加が見込まれる。				
対応案	国内外からの参加者等の記念になるよう、開閉会式、フェアウェルパーティー等について規模を拡充して実施するとともに、大会参加以外の日も楽しめるよう空手フェスティバルを開催することで、大会参加者の満足度向上を図り、再来訪を促進する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手少年少女世界大会の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手世界大会及び沖縄空手少年少女世界大会を開催することで、県外・海外からの空手関係者来訪数の増加に寄与する。				
要因分析	令和6年度に開催する「沖縄空手少年少女世界大会」は、コロナ後に開催する最初の大会であることから、県外・海外からの参加者数についても前回大会より増加が見込まれる。				
対応案	国内外からの参加者等の記念になるよう、開閉会式、フェアウェルパーティー等について規模を拡充して実施するとともに、大会参加以外の日も楽しめるよう空手フェスティバルを開催することで、大会参加者の満足度向上を図り、再来訪を促進する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手に関するイベントの開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	10月25日が空手の日であることを記念し、イベントを開催した。記念演武祭は国際通りに1,926名の空手家が集まり一斉演武を行ったとともに、沿道では約10,000名の観客が観覧した。				
要因分析	第2回沖縄空手少年少女世界大会を令和6年8月に開催することにより、令和6年度開催予定の「空手の日」関連行事については、国内外からの参加者数の増加が予想される。				
対応案	今後も継続的に記念演武祭が開催できるよう、県内空手道場や空手関係団体等と連携するとともに、記念演武祭の周知広報に努める。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-④	ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数	人	11,500	3,942	13,135		12,800	188.6%	目標達成
			計画値					
			11,933	12,367	12,800			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
ユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の機運醸成を図るため、シンポジウムを開催し、アーカイブ動画の配信を行っている。また、空手の日関連イベントのほか、沖縄空手の普及啓発のためのイベントも実施した。								
要因分析								
類型	説明							
③ 周知・啓発の効果	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けたシンポジウムのほか、沖縄空手関連イベントの開催による相乗効果より、県民の機運醸成や普及啓発に向けたイベント参加者数は計画通り進捗している。							
⑥ その他個別要因	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、沖縄空手の学術研究をさらに深めていき、県民向け周知を図るとともに、沖縄空手だけではなく、琉球料理等食文化などの分野とも連携した県民の機運醸成のほか、効果的な取組について検討する必要がある。							
対応案								
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、引き続き、沖縄空手関連イベントの開催による相乗効果を図るとともに、沖縄空手の学術研究を深めていき、空手が生活文化に浸透している実態について県民向けに周知し、沖縄空手だけではなく、琉球料理等食文化などの分野とも連携した効果的な取組について検討する。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-④	主な取組名	県民等の気運醸成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手に関するシンポジウムや関連イベントの開催等を通じて、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成や普及啓発を図った。				
要因分析	沖縄空手関連イベントの実施件数は目標値（4件）を達成しており、参加人数増加につながる効果が得られているものと考えている。				
対応案	沖縄空手について、他事業との連携を図りながら、情報発信を強化するなどして、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた普及啓発と機運醸成に、引き続き取り組んでいく。				

成果指標 検証票

施策名	3-(1)-イ-②		観光産業と多様な産業との連携					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
一人当たり観光消費額（土産・買物費、 飲食費） （一人当たり観光消費額（土産・買物 費））	円	17,702	18,078	18,078		19,462	32.0%	目標達成の 見込み
				R4実績仮 登録				
			計画値					
			18,288	18,876	19,462			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値	達成率	達成状況
一人当たり観光消費額（土産・買物費、 飲食費） （一人当たり観光消費額（飲食費））	円	16,387	20,604	20,604		18,016	387.9%	目標達成の 見込み
				R4実績仮 登録				
			計画値					
			16,929	17,474	18,016			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課							
達成状況の説明								
<p>（R5実績については、7月頃に確定予定）県産品の戦略的なマーケティング支援やプロモーション展開、沖縄のソフトパワーを活用した観光メニュー開発、グリーン・ツーリズム実践者の支援・育成などの取組により、一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）の向上に繋がった。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析					
類型	説明				
① 計画通りの進捗	市場ニーズに対応した食嗜好やパッケージ等の新たなニーズ・課題に対応した県内企業の商品開発、デザイン開発等を促進するとともに、体験交流型観光等の各種ツーリズムの充実強化を図ることで土産・買物費、飲食費の更なる伸長を目指す。				
対応案					
引き続き、市場ニーズの把握や体験交流型観光等の各種ツーリズムの推進などに取り組むとともに、観光産業と多様な産業との連携に係る各種施策の充実強化に努める。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	稼ぐ県産品支援事業	対応課	グローバルマーケット戦略課
成果指標への寄与の状況	県外商談会での商談に時間を要したこと等により目標を下回ったが、プロモーションで出品した県産品が定番化される等、一定の効果が見られた。				
要因分析	県外市場のニーズの把握やニーズに応じた商品提案、誘客のための展示等、県内事業者のマーケティングに係る活動が不十分だったことが要因と考えられる。				
対応案	引き続き県産品のプロモーション実施やセミナー等のマーケティング支援、県外商談会への出展支援等、県内事業者に対する総合的な支援に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	グリーン・ツーリズムの推進	対応課	村づくり計画課
成果指標への寄与の状況	農山漁村と都市との交流を促進するグリーン・ツーリズム実践者の育成・支援等を行い、観光客の受入れ体制の強化が図られたことで、成果指標へ寄与できた。				
要因分析	グリーン・ツーリズムインストラクター講習会の実施により、体験交流プログラム作成に必要な知識と技術を習得した専門人材が育成された。				
対応案	グリーン・ツーリズムの受入れ体制の強化や高位平準化を図るため、引き続きグリーン・ツーリズム人材育成とフォローアップ支援に取り組む。				

成果指標 検証票

施策名	3-(10)-ウ-①		着地型観光プログラム等の定着					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額（八重山）	円	87,249	116,584	116,584		95,925	506.9%	目標達成の見込み
				(R4年度)				
			計画値					
			90,138	93,036	95,925			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額（宮古）	円	86,891	108,585	108,585		95,532	376.4%	目標達成の見込み
				(R4年度)				
			計画値					
			89,768	92,655	95,532			

(様式3) 「成果指標」 検証票

成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額	円	62,893	76,005	76,005		69,147	314.4%	目標達成の見込み
				(R4年度)				
			計画値					
			64,976	67,064	69,147			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
令和5年度実績値は未確定であるが、観光客の滞在日数や一人当たり消費額の増加を図るため、関連する主な取組により離島誘客を実施しており、順調に推移することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	離島誘客を促進することにより、離島への訪問者及び一人あたりの観光消費額の増加を図った。							
対応案								
観光客増加により発生する観光諸問題の解決や防止のため、サステナブルツーリズムの推進を図る。県内の実態を把握するとともに、観光諸問題の解決のため、専門家派遣や相談窓口の設置するなどして、地域に根付いた取組を行う。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-①	主な取組名	離島の魅力ある資源を活かした観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島の魅力ある資源を活かした観光コンテンツの開発を2件支援したことにより、離島地域の観光消費額向上に一定程度寄与することができた。				
要因分析	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において「離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの創出」を掲げていることを積極的に発信した。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの創出」を事例として挙げ、申請を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-①	主な取組名	離島観光活性化促進事業（国内線チャーター便支援）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光客の滞在日数や一人あたり消費額の増加を図るため、離島への交通アクセスを拡充し、離島航空路線のプログラムチャーター化または定期便化に向けた取組に対する支援を実施。令和5年度においては、支援件数19件、入域者数は1,059人となった。				
要因分析	R5年度は年度当初より支援に対する問い合わせは多く、出発利用空港が山形から佐賀まで計11出発地となっており、国内の様々な空港を出発するチャーター便に対して支援を実施することが出来た。当事業については、引き続き需要が高いと考えており、チャーター運航実績のある航空会社を中心に定期便誘致を働き掛けていきたいと考えている。				
対応案	定期便化・プログラムチャーター化に繋げるため、航空会社や旅行会社へのセールス活動等を継続していく。また、各離島地域や関係機関等と連携し、本事業のさらなる周知を実施する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-①	主な取組名	離島観光活性化促進事業（主要離島観光協会によるプロモーションの実施）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光客の滞在日数や一人あたり消費額の増加を図るため、八重山圏域、宮古圏域、久米島圏域の観光協会等が主体となり、各圏域ごとに、展示会への出展及びメディアやSNS等を活用した各種プロモーションを実施し、誘客促進を図った。				
要因分析	各地域の特色あるコンテンツの掘り起こしや各関係機関との連携を図る必要がある。また、インバウンド需要が回復する中、多言語対応等の受入体制の整備についても検討する必要がある。				
対応案	各圏域ごとの課題や解決策について共有を行いながら、関係機関等と連携し、高付加価値コンテンツの掘り起こしや各離島の受入体制状況に配慮した誘客プロモーションについて検討を行う。				

成果指標 検証票

施策名	3-(10)-ウ-②		環境に配慮した持続可能な観光の推進					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
離島の持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合 (宮古)	%	37.1	37.5	37.5		50	37.5%	目標達成の見込み
				R4年度				
			計画値					
			41.4	45.7	50			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
離島の持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合 (八重山)	%	45.4	47.6	47.6		50	71.0%	目標達成の見込み
				R4年度				
			計画値					
			46.9	48.5	50			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
離島の持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合 (久米島)	%	31.1	32.5	32.5		50	32.5%	目標達成の見込み
				R4年度				
			計画値					
			37.4	43.7	50			

(様式3) 「成果指標」 検証票

担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	
達成状況の説明		
<p>(R5実績値については、令和6年7月下旬に確定予定) サステナブルツーリズムは、世界的に浸透してきており、沖縄県においても、経済、自然、文化を尊重した観光が意識されてきていることから、旅行者と地域住民が沖縄の観光資源の価値を共有した取組が各地域でも実施されている。</p>		
要因分析		
類型	説明	
② 関係機関の調整進展	サステナブルツーリズム推進事業では、有識者会議やワークショップを開催し、関係者や関係機関との連携を促進した。	
③ 周知・啓発の効果	地域住民と旅行者が沖縄の観光資源の価値を共有するため、それぞれのニーズを測る調査を行い、関係者を集めた公開型ワークショップを2回実施し、県民や旅行者への周知・啓発を実施するとともに、関係者と価値の共有と今後必要な取組について共有した。	
対応案		
<p>サステナブルツーリズムを推進するため、県内の実態を把握するとともに、推進に弊害となっている観光諸問題を解決する必要があるため、専門家派遣や相談窓口の設置を行うなどして、地域に根付いた取組を行う。</p>		

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-②	主な取組名	離島市町村における観光地マネジメントの促進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島地域との意見交換会開催し、離島地域における観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	離島地域との意見交換会の開催によって、離島地域における持続可能な観光に対する理解が深まり、持続可能な観光を推進する取組への支援につながった。				
対応案	引き続き、離島地域が抱える持続可能な観光に対する取組の課題解決への支援を実施する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-②	主な取組名	住民生活や自然環境への配慮等に関する周知啓発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島振興会議や持続可能な観光地マネジメントについてのセミナーを開催し、離島地域における観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	レスポンシブルツーリズムの取り組みを沖縄県全体に普及することで、地域住民の生活や自然環境の保全が図られる。				
対応案	地域毎のレスポンシブルツーリズムの取り組みを促進するため、市町村や観光協会等との連携を強化する必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-②	主な取組名	自然環境の保全利用協定締結推進事業	対応課	自然保護課
成果指標への寄与の状況	令和5年度末時点で、県内4地域の県知事認定保全利用協定が締結されており、各地域においては観光ツアー事業者同士の自主的なルールづくりにより、自然環境の過度な利用について防止が図られている。				
要因分析	新規締結地区は0件であるものの、更新手続きが4件あり、各地区の代表事業者を中心に支援を継続している。				
対応案	関係自治体との連携にも注力し、新規締結に向けた支援に継続して取り組む。				

成果指標 検証票

施策名	3-(12)-イ-②	国際路線の拡充に向けた取組強化						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
那覇空港の国際路線数（就航都市数）	路線	0	3	8		15	80%	達成に努める
			計画値					
			5	10	15			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
<p>那覇空港国際線は令和4年度に約2年5か月ぶりに路線が再開。令和5年度の運航状況は8路線（台北、高雄、仁川、香港、北京、上海、クアラルンプール、シンガポール）、17社運航となり、令和5年（暦年）の外国人観光客は98万6,600人となった。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑥ その他個別要因	コロナ禍以前に那覇空港に就航し、かつ、運航を再開した航空会社に対し、那覇空港国際線の路線再開を促進するためのインセンティブとして支援を実施した。							
対応案								
<p>空港の受入体制の整備に向けて他部局と連携して取り組み、那覇空港の路線回復を図る必要がある。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	新規就航定期便等への支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	那覇空港に新規開設された路線に関し、航空会社や現地マーケティング会社と搭乗率安定化に向けた連携プロモーション等の支援をした。				
要因分析	連携プロモーション等の支援により、沖縄の認知度向上と搭乗率の向上と安定化に寄与している。				
対応案	運休が継続している路線の回復および安定化に向けて、沖縄観光の需要を喚起するための市場プロモーションを継続して実施し搭乗率の安定化を図る必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	各市場での誘客プロモーションの展開	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	委託事業者および県海外事務所と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した。				
要因分析	国際線の再開に合わせて適切な市場プロモーションを実施したことで、路線回復の促進につながった。				
対応案	運休が継続している路線の回復および安定化に向けて、沖縄観光の需要を喚起するための市場プロモーションを継続して実施する必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	国際旅客ハブの形成	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	他の自治体と連携し経由便による周遊型旅行のプロモーションを実施した。				
要因分析	他の自治体と連携し那覇空港を利用した周遊型旅行をプロモーションすることにより、中長期的な那覇空港の利用促進を図ることができた。				
対応案	那覇空港国際線の利用促進及び経由便を活用した欧米からの誘客を強化するため、海外の航空会社と連携した周遊型旅行のプロモーションを引き続き実施する必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	CIQの常設化及び運営体制の強化	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	関係部局と連携を図りながら、空港及び港湾のCIQ体制の強化に向けて要請を行った。				
要因分析	下地島空港などの国際線の再開が予定されており、今後CIQ体制強化が必要とされている。				
対応案	観光誘客に欠かせない海外路線やクルーズ船能化入れについても関係部局と連携を図りながら、CIQの体制強化を要請を行っていく。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-①	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合	%	91.8	90	90		91.8	90%	目標達成の見込み
				(R4年度)				
			計画値					
			91.8	91.8	91.8			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
令和5年度の実績値は未確定であるが、観光客の安全・安心につながる観光危機関連施策に継続して取り組んでおり、順調に推移することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	観光危機関連施策を継続して実施していることが、間接的に観光客の安全・安心感に繋がっていると考えられる。							
対応案								
引き続き、市町村説明会を通じた観光危機管理計画策定支援を行っていく等、観光危機管理施策を展開することにより、観光客に安全・安心な沖縄観光の形成に努めていく。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	市町村における観光危機管理計画策定支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	引き続き勉強会や専門家派遣、アンケート調査等を実施し、観光危機管理計画未策定の市町村に対する機運醸成・策定支援に務める。				
要因分析	令和5年度における台風来襲等を踏まえ、自治体における観光危機対応への機運は上昇している。				
対応案	勉強会や専門家派遣、アンケート調査等を実施し、観光危機管理計画未策定の市町村の支援に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定の締結	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光関連団体を含めて協定締結の必要性、内容等について検討をした。				
要因分析	初動対応、帰宅支援等に備えた訓練を通じて、実効的な協定締結に向けて取り組みを行う。				
対応案	令和5年度に引き続き、初動対応、帰宅支援等に備えた訓練を通じて、実効的な協定締結に向けて取り組みを行う。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	ICTを活用した観光危機情報の収集・発信	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	「LoGoチャット」を活用した情報収集・発信について、観光危機運用訓練にて実際に使用することにより、迅速な情報収集・発信が可能となった。				
要因分析	I C T技術の進歩により導入が促進されたと考えられる。				
対応案	観光危機運用訓練にて実際に使用することにより、運用上の課題等を洗い出していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	外国人観光客の傷病時等における多言語対応	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	インバウンド医療対応通訳コールセンターを設置し、外国人観光客が急なケガや病気に見舞われた際の通訳サポートを実施した。				
要因分析	コールセンターの設置により、外国人観光客の安心感や外国人観光客を受け入れる医療機関の負担軽減に繋がっており、観光客の安全・安心に寄与した。				
対応案	県内の医療事業者に本事業をより活用してもらうため、医療事業者向けに本事業の活用例やインバウンド傷病者対応の実例を紹介するセミナーを開催する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	CIQの常設化及び運営体制の強化	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	空港・港湾におけるCIQ体制の審査体制を充実強化を要望を関係機関と一緒にしている。				
要因分析	国際線が復活予定である下地島空港などのCIQ審査体制の強化などを継続して求めていく。				
対応案	CIQ側も人手不足であるが今後の誘客なども含めて、国際線が本格化された際に検疫指定されるための条件なども提示しながら双方で調整を行っていく。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-②		快適で魅力ある観光まちづくりの推進					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
リピーター率 (国内客)	%	86.2	87.8	87.8		90	64.0%	達成に努める
				(R4年度)				
			計画値					
			87.5	88.7	90			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
リピーター率 (外国客)	%	29	36.2	36.2		29	0%	目標達成の見込み
				(R4年度)				
			計画値					
			29	29	29			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課							
達成状況の説明								
令和5年度の実績値は未確定であるが、新型コロナウイルス感染症による影響からの回復や関連する主な取組により、国内客及び外国客のリピーター率は順調に推移することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	コロナ禍を経て、観光客数が回復してきていることが、リピーター率の向上に繋がった。							

(様式3) 「成果指標」検証票

対応案					
引き続き、国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりや観光客のニーズに合わせた情報の提供、地域観光の課題解決に取り組むことで快適な沖縄観光を推進し、リピーター率の向上を図る。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	沖縄フラワークリエイション事業	対応課	道路管理課
成果指標への寄与の状況	計画41路線に対し、実績41路線となっており、順調に進捗している。 国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線について、緑化（草花等）・重点管理を実施した。				
要因分析	花のあるアレロパシー植物の活用により良好な沿道景観形成が図られ、うちなーんちゅ大会時のおもてなしとして、県庁前広場の花モニュメントを設置したことなどが、成果指標の推進に繋がっている。				
対応案	-				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	地域観光の支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	アドバイザー要綱を改正し、各自治体が利用しやすい制度設計を行ったことで、地域観光支援に寄与した。				
要因分析	オンラインでのミーティングを積極的に取り入れ、北部エリアや八重山地区、宮古地区などの市町村や観光協会等と効率的に意見交換を行うことができた。				
対応案	引き続き、地域に即した支援や幅広い地域への支援を実施していく。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	観光案内所運営事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	那覇空港国内線・国際線観光案内所および沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等のきめ細かな観光案内サービスを多言語で提供した。				
要因分析	バス協会や観光施設、OCVB等と連携し、より正確な観光情報の整備・発信し、観光客へ案内を実施する。観光案内所へ設置の観光情報パンフレットは、作成元へ情報の更新を働きかけ、最新情報を提供できる体制を整える。より正確な観光情報の整備・発信し、観光客へ案内を実施した。観光案内所へ設置の観光情報パンフレットは、作成元へ情報の更新を働きかけ、最新情報を提供できる体制を整える。				
対応案	引き続き、バス協会や観光施設、OCVB等と連携し、満足度の向上に寄与する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	Be. Okinawa多言語コンタクトセンター	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	目標通り、多言語コンタクトセンターの運営をし、外国人観光客の各種サポートした。				
要因分析	チャットbotツールが自動学習することにより、問い合わせの多い質問等をFAQ形式で掲載した。				
対応案	引き続き、外国人観光客のニーズを的確に把握する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	県民意識の啓発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施することにより、県民意識の啓発につながった。				
要因分析	コロナ禍のため観光月間・観光の日のPR内容の変更があり、予定していた受入機運の維持・醸成ができなかった。				
対応案	アフターコロナを見据えた県民、観光客が求める観光客受入体制の整備、気運醸成に留意した取組を実施する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-③	多様な受入環境の整備						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合 （心のバリアフリー認定件数（累計））	件	6	6	17		30	68.8%	目標達成の見込み
			計画値					
			14	22	30			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合 （LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合）	%	3.9	4.1	14.3		5	1,485.7%	目標達成
			計画値					
			4.3	4.6	5			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
<p>観光庁が創設した「心のバリアフリー認定制度」について、県内の観光関連事業者に浸透し始め、引き続き周知啓発を図っていく必要がある。</p> <p>LGBTQに対する受入環境整備については、ほぼ計画通りに進んでおり、引き続きLGBTQ関連のセミナーを実施するなど、受入環境整備の強化に努める。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

要因分析					
類型	説明				
② 関係機関の調整進展	引き続き、心のバリアフリー認定件数（累計）については、観光庁が創設した「心のバリアフリー認定制度」について周知啓発を図り、同制度における認定を促進する必要がある。				
① 計画通りの進捗	LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合については、ほぼ計画通りに進んでおり、引き続きLGBTQ関連のセミナーを実施するなど、受入環境整備の強化に努める。				
対応案					
ユニバーサルツーリズムに係るセミナー等で、同制度の周知啓発を図るとともに、認定に向けたサポートを実施する。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	ユニバーサルツーリズムの推進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考える。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、申請についてもサポートすることとする。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	観光客向けの情報発信の強化	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ポータルサイトにおいて、「心のバリアフリー」認定制度にかかる周知啓発を行っており、一定程度寄与していると考え。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、申請についてもサポートすることとする。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	ユニバーサルデザインの推進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考え。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、申請についてもサポートすることとする。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	県民のホスピタリティ向上	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考えます。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、観光庁への申請についてもサポートすることとする。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-イ-①	サステナブル・ツーリズムの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合	%	40.7	42.2	42.2		50	24.2%	達成に努める
				(R4年度)				
			計画値					
			43.8	46.9	50			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
令和5年度実績値は、7月以降に確定する。サステナブルツーリズムは、世界的に浸透してきており、沖縄県においても、経済、自然、文化を尊重した観光が意識されてきていることから、旅行者と地域住民が沖縄の観光資源の価値を共有した取組が各地域でも実施されている。								
要因分析								
類型	説明							
② 関係機関の調整進展	サステナブルツーリズム推進事業では、有識者会議やワークショップを開催し、関係者や関係機関との連携を促進した。							
③ 周知・啓発の効果	地域住民と旅行者が沖縄の観光資源の価値を共有するため、それぞれのニーズを測る調査を行い、関係者を集めた公開型ワークショップを2回実施し、県民や旅行者への周知・啓発を実施するとともに、関係者と価値の共有と今後必要な取組について共有した。							
対応案								
サステナブルツーリズムを推進するため、県内の実態を把握するとともに、推進に弊害となっている観光諸問題を解決する必要があるため、専門家派遣や相談窓口の設置を行うなどして、地域に根付いた取組を行う。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-①	主な取組名	沖縄観光に関する県民意識調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	沖縄観光に関する県民意識調査の実施により成果指標を測定するとともに、サステナブル・ツーリズムの推進に係る施策の企画・立案を促進した。				
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、サステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-①	主な取組名	観光統計実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	観光統計実態調査の設問の中に、立ち寄り先等で持続可能な観光を推進するための取組が行われると感じられるか等についての設問を設け、その結果を報告書の中で公表することでサステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。				
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、サステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-イ-②	持続可能な観光指標の設定と観光地マネジメント						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数（累計）	市町村	17	18	21		25	80.0%	目標達成の見込み
			計画値					
			20	22	25			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数（累計） が21市町村になっており、当初の目標を達成する見込みである								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	「世界から選ばれる持続可能な観光地」の形成に向け各施策の着実な推進を図るとともに、各地域への説明会の実施により各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図ることができた。							
対応案								
世界から選ばれる持続可能な観光地の形成のため、各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図るため、市町村や観光関連団体と観光振興に関する課題やその対応策の共有を図る。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	沖縄観光推進ロードマップ実施事業	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	令和5年度は、国や観光関連団体等で構成する会議における検証など令和4年度を対象としたPDCAを実施したほか、ロードマップやPDCA実施結果について市町村や観光関連団体向けの説明会を圏域別に実施した。				
要因分析	成果指標を用いた施策効果の検証や各施策に係る取組の進捗確認を行うPDCAを実施することにより、「世界から選ばれる持続可能な観光地」の形成に向け各施策の着実な推進を図るとともに、説明会の実施により各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図ることができた。				
対応案	各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図るため、市町村や観光関連団体と観光振興に関する課題やその対応策の共有を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	市町村における観光地マネジメントの促進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	市町村や観光協会との意見交換会開催し、持続可能な観光における観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	市町村や観光協会との意見交換会の開催によって、それぞれの地域の持続可能な観光に対する理解が深まり、持続可能な観光を推進する取組への支援に繋がった。				
対応案	引き続き、地域が抱える持続可能な観光に対する取組の課題解決への支援を実施する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	観光地の混雑解消・分散化・平準化	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	<p>沖縄観光快適Navi「おきめぐり」webサイトを開設した。おきめぐりの中で観光快適度マップを作成し、県内32カ所の観光スポットについて、過去の人流データを元に観光スポット周辺の流れをAIで予測し地図で表示を行うことで観光客の混雑解消・分散化・平準化の手法構築に寄与した。</p>				
要因分析	<p>沖縄観光快適Navi「おきめぐり」webサイトに掲載されている、観光快適度マップから観光地の混雑予測情報を取得することで、旅行計画等において訪問日や訪問時間の調整を行うことができ、観光客の分散化に繋がる。</p>				
対応案	<p>開設した沖縄観光快適Navi「おきめぐり」webサイトについて掲載データの更新やコンテンツの充実・強化を図る</p>				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-①	沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
平均滞在日数	日	3.7	4.25	4.25		4.21	161.8%	目標達成の見込み
				(R4年度)				
			計画値					
			3.87	4.04	4.21			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課							
達成状況の説明								
令和5年度の実績値は未確定であるが、平均滞在日数の増加に関連する主な取組を継続的に実施しており、計画値を達成することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	各種取組を効果的に実施したことで、計画通りに進捗している。							
対応案								
計画通りの進捗とするため、引き続き各種取組を実施し、質の高い観光施策を推進していく。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-①	主な取組名	多彩かつ質の高い観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援し、多彩かつ質の高い観光コンテンツ開発を行うことで平均滞在日数の延伸に一定程度寄与したと考える。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-①	主な取組名	持続可能なマリンレジャーの振興	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光客及びマリンレジャー事業者へ環境に配慮したツーリズムのプロモーション、セミナーを開催し、持続可能なマリンレジャーの振興に寄与することができた。				
要因分析	沖縄県内で行われている、環境へ配慮したマリンレジャーの取り組みを共有することで、持続可能な観光に寄与すると考える。				
対応案	観光客及びマリンレジャー事業者をレスポンスブルツーリズムへの参画に繋げるため、市町村や観光協会等と連携し、効果的な取り組みを実施する必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-①	主な取組名	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-②		多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額 (国内客の一人当たり観光消費額)	円	76,987	103,292	103,292		85,710	121%	目標達成
				(R4年度)				
			計画値					
			79,892	82,805	85,710			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額 (外国空路客の一人当たり観光消費額)	円	102,528	93,497	93,497		106,386	88%	目標達成の見込み
				(R4年度)				
			計画値					
			103,813	105,101	106,386			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
<p>(R5実績値については、令和6年7月下旬に確定予定) 国内観光客については、令和4年度の一人当たりの観光消費額が目標値を達成した。また、外国人観光客についても目標値に近づいており、目標達成の見込みとなっている。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析					
類型	説明				
① 計画通りの進捗	物価高騰による旅行代金の上昇等影響はあるもの、観光客の消費意欲は旺盛であった。				
対応案					
観光客の更なる消費額向上のため、滞在日数を増やす取組などのプロモーションを継続して行っていく。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	海外富裕層向けプロモーション事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	台湾、韓国、香港、中国本土、シンガポール、タイ、マレーシア、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア等において各市場特性に応じた戦略的なプロモーションと路線回復の取組を推進したことにより、入域外国人観光客数は皆増となった。				
要因分析	沖縄観光への興味・関心を維持・拡大させる取組が外国人観光客の呼び込みと一定程度の観光消費額に繋がったと考えられる。				
対応案	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、さらなる路線の回復とインバウンドの需要取り込みに繋げる必要がある。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	国内富裕層向けプロモーション事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	国内旅行需要を取り込むために、イベントプロモーション、航空会社・空港プロモーション、デジタルプロモーション、沖縄観光ブランド化の取組みなど積極的なPR活動を実施したことにより、国内入域観光客数の増加に寄与した。				
要因分析	国内旅行需要が回復基調にあったことから、各種プロモーション活動がニーズにマッチし効果的に機能したといえ、国内入域観光客数と消費額の増加に繋がったと考えられる。				
対応案	引き続き航空会社及び直行便就航地を中心とした地方空港等と連携した誘客プロモーションを強化し、旅行需要回復期における効果的な誘客を実施する。沖縄観光のブランド化に向けた取組を戦略的に実施するほか、富裕層に訴求するプロモーションを継続する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	国内需要安定化事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	国内観光客の一人当たりの観光消費額は、目標値を達成した。外国人観光客についても、目標値に近づきつつある。				
要因分析	物価高騰の影響もあり、国内観光客の観光消費額が目標値を超える結果になっている。外国人観光客についても、円安の影響で、消費しやすい環境となっている。				
対応案	国内観光客、外国人観光客ともに、歴史や文化、自然体験等を通じた滞在日数の延伸を図り、観光消費額向上に向けた取組を推進する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	教育旅行推進強化事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄への修学旅行を安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションの実施や実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等の取組を実施したことにより、国内入域観光客数の増加に寄与した。				
要因分析	国内旅行需要が回復基調にあったことから、各種プロモーションや各種支援等の取組がニーズにマッチし効果的に機能したといえ、国内入域観光客数と消費額の増加に繋がったと考えられる。				
対応案	引き続き沖縄修学旅行プロモーションの取組を実施し、旅行需要回復期における効果的な誘客を実施する。また、実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等の取組を継続する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	沖縄観光グローバル事業（海外重点市場）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	台湾、韓国、香港、中国本土、シンガポール、タイ、マレーシア、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア等において各市場特性に応じた戦略的なプロモーションと路線回復の取組を推進したことにより、入域外国人観光客数は皆増となった。				
要因分析	沖縄観光への興味・関心を維持・拡大させる取組が外国人観光客の呼び込みと一定程度の観光消費額に繋がったと考えられる。				
対応案	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、さらなる路線の回復とインバウンドの需要取り込みに繋げる必要がある。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	沖縄観光グローバル事業（戦略開拓市場等）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	台湾、韓国、香港、中国本土、シンガポール、タイ、マレーシア、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア等において各市場特性に応じた戦略的なプロモーションと路線回復の取組を推進したことにより、入域外国人観光客数は皆増となった。				
要因分析	沖縄観光への興味・関心を維持・拡大させる取組が外国人観光客の呼び込みと一定程度の観光消費額に繋がったと考えられる。				
対応案	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、さらなる路線の回復とインバウンドの需要取り込みに繋げる必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	カップルアニバーサリーツーリズム事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	カップルアニバーサリーの実施を推進するため、ブランドイメージの定着と各種プロモーションを継続したことにより、実施組数が過去最多となったとともに、推計来県者数および推計経済効果にも伸びが見られた。				
要因分析	リゾートウェディング統計調査（観光振興課）の結果から、ウェディングにおける来県者数が増加しているとともに、消費単価も伸びており、成果指標である一人当たり観光消費額の向上につながっている。				
対応案	沖縄リゾートウェディングの価値の向上・浸透を図る取組を継続するとともに、国内外の市場において、高付加価値商品に重点を置いたプロモーションを実施する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-③	質の高いクルーズ観光の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合	%	0	100	45		41.6	100%	目標達成の見込み
			計画値					
			13.9	27.7	41.6			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合が令和6年度の目標値を超える45%程度の実績となった。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	高付加価値の高いプレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の誘致に取り組んでいるため計画通りに推移している。							
対応案								
今後も質の高いクルーズ船の誘致をするためにも関係部局と連携する。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	クルーズ船寄港地の形成（中城湾港）	対応課	港湾課
成果指標への寄与の状況	令和4年度に行った将来計画のふ頭再編検討を踏まえ、貨物利用の傾向を検証する必要があるため、実証実験を行い、傾向を整理した。				
要因分析	人流と物流の棲み分けに必要な物流の将来の傾向を実証実験で確認し、整理できたことから進捗が図られている。				
対応案	中部圏域の関係機関との連携強化を図り、国際クルーズ船をスムーズでストレスなく受け入れる体制を構築する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	石垣港の整備	対応課	港湾課
成果指標への寄与の状況	石垣港において岸壁等の整備が実施されている。				
要因分析	国において計画的に進捗がなされており、石垣市においても、受入体制の構築に向けた取組が進捗している。				
対応案	港湾管理者である石垣市において旅客受入施設の整備に向け取り組む。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-④		観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、 宿泊費）	円	6,647	10,525	10,525		7,308	879.4%	目標達成の 見込み
				(R4年 度)				
			計画値					
			6,867	7,088	7,308			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値	達成率	達成状況
一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、 宿泊費）	円	23,398	R4	R5	R6	26,646	709.9%	目標達成の 見込み
			38,774	38,774				
				(R4年 度)				
			計画値					
	24,480	25,564	26,646					
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課							
達成状況の説明								
R5の実績値については、8月頃確定予定。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

要因分析					
類型	説明				
対応案					
引き続き、観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進や、多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築等の取組の充実強化に努める。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	観光地形成促進地域制度の活用促進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	同制度の活用促進を図ることで、沖縄観光の高付加価値化に資する観光関連施設の整備を促進し、本県の観光消費額の増額に寄与している。				
要因分析	<p>個別企業や経済団体、関係業界等への積極的な制度周知及びワンストップ窓口の設置による申請手続の負担軽減による申請件数の増が図られることから、沖縄観光の高付加価値化に資する観光関連施設の整備が促進されている。</p> <p>また、ポストコロナを見据えた観光ニーズを想定した民間による観光関連施設の整備増も影響していると考えられる。</p>				
対応案	引き続き、沖縄観光の高付加価値化に資する観光関連施設の整備の促進を図るため、企業、関係団体、業界等への税制活用の積極的な周知・広報活動等に取り組むとともに、ワンストップ窓口による事業者の申請手続の負担軽減を継続する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	民間観光関連施設の投資の促進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	観光地形成促進地域制度の活用促進を図ることで、沖縄観光の高付加価値化に資する民間観光関連施設の整備を促進し、本県の観光消費額の増額に寄与している。				
要因分析	個別企業や経済団体、関係業界等への積極的な制度周知及びワンストップ窓口の設置による申請手続の負担軽減による申請件数の増が図られることから、沖縄観光の高付加価値化に資する宿泊施設をはじめとする民間観光関連施設の整備が促進されている。				
対応案	引き続き、沖縄観光の高付加価値化に資する民間観光関連施設の整備の促進を図るため、企業、関係団体、業界等への税制活用の積極的な周知・広報活動等に取り組むとともに、ワンストップ窓口による事業者の申請手続の負担軽減を継続する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	付加価値の高い観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-①	ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数	施設	0	2	3		3	100%	目標達成
			計画値					
			1	2	3			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
3つの観光施設で混雑状況等のリアルタイム情報を発信したことで、目標を達成した。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	関連する主な取組の継続的な実施によって、リアルタイムな情報を公開している観光施設数が増加した。							
対応案								
目標は達成できたものの、観光客が快適に過ごせる観光地の形成に向け、さらなる施設数の増加を目指していく。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	新たな技術を活用した観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	新たなデジタル技術を活用した観光コンテンツ開発の支援により、施設におけるオープンデータ化を図ることから、一定程度寄与するものとする。				
要因分析	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において「新たなデジタル技術を活用したコンテンツ開発の促進」を掲げていることを積極的に発信したため。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「新たなデジタル技術を活用した観光メニュー」を事例として挙げ、申請を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	コンタクトレス決済端末機導入整備事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	コンタクトレス決済端末機の導入整備を進めたことにより、DX推進に寄与できた。				
要因分析	コンタクトレス決済端末機の導入支援を行ったことによる。				
対応案	引き続き、コンタクトレス化(キャッシュレス化)の普及促進を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	観光情報基盤構築事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光ビーチ情報等を収集した。				
要因分析	収集したデータについては、主にビーチの名称や位置情報等であることから、リアルタイムな情報の公開については、関連する施策と連携する必要がある。				
対応案	D×観光客動態調査事業で実施している観光施設による混雑情報の発信と連携しながら、観光施設のリアルタイムな情報の公開を推進する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-②	世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
ワーケーションを目的とした来県者の割合	%	3.4	1.8	1.8		3.7	-800.0%	達成に努める
				(R4年度)				
			計画値					
			3.5	3.6	3.7			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
<p>(R5実績値については、令和6年7月下旬に確定予定) ワーケーション目的で来県する観光客数は、前年度から倍増(65,000名から、121,000名へ)している。他方、沖縄に来る観光客数も大きく増加しており、その結果、ワーケーション目的で来県する方の全体に占める割合は小さくなった。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑮ その他個別要因	<p>ワーケーション目的で来県する観光客数は、前年度から倍増しており、県外からの来県者のワーケーション需要を確実にとらえている。しかしながら、観光目的の来県者数が大幅に増えたため、成果目標の達成には至らなかった。</p>							
対応案								
<p>引き続き、県内外でのプロモーションを行うことにより、ワーケーション目的の来県者を増やすように取り組む。また、新型コロナウイルス感染症が5類になって以降、観光目的の来県者が大幅に増えている。このような状況では成果指標の達成が厳しいため、見直しも検討する。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-②	主な取組名	DESTINATIONとしての沖縄の認知度向上に向けた取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ワーケーション目的で来県する観光客数は、前年度から倍増（65,000名から、121,000名へ）している。他方、沖縄に来る観光客数も大きく増加しており、その結果、ワーケーション目的で来県する方の全体に占める割合は小さくなった。				
要因分析	ワーケーション目的で来県する観光客数は、前年度から倍増しており、県外からの来県者のワーケーション需要を確実にとらえている。しかしながら、観光目的の来県者数が大幅に増えたため、成果目標の達成には至らなかった。				
対応案	引き続き、県内外でのプロモーションを行うことにより、ワーケーション目的の来県者を増やすように取り組む。また、新型コロナウイルス感染症が5類になって以降、観光目的の来県者が大幅に増えている。このような状況では成果指標の達成が厳しいため、見直しも検討する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-②	主な取組名	企業や個人事業主等に対する誘客の取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ワーケーション目的で来県する観光客数は、前年度から倍増（65,000名から、121,000名へ）している。他方、沖縄に来る観光客数も大きく増加しており、その結果、ワーケーション目的で来県する方の全体に占める割合は小さくなった。				
要因分析	ワーケーション目的で来県する観光客数は、前年度から倍増しており、県外からの来県者のワーケーション需要を確実にとらえている。しかしながら、観光目的の来県者数が大幅に増えたため、成果目標の達成には至らなかった。				
対応案	引き続き、県内外でのプロモーションを行うことにより、ワーケーション目的の来県者を増やすように取り組む。また、新型コロナウイルス感染症が5類になって以降、観光目的の来県者が大幅に増えている。このような状況では成果指標の達成が厳しいため、見直しも検討する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-③	データを活用した戦略的なマーケティングの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数	件	5,000	62,967	62,967		31,500	327.9%	目標達成
				(R4年度)				
			計画値					
			13,824	22,676	31,500			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課							
達成状況の説明								
令和5年度の実績値は未確定であるが、関連する主な取組等によって行動歴・販売データの分析に取り組んだことから、計画値を上回ることが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	各種DX推進施策に取り組んだことが、このような結果に繋がったと考えられる。							
対応案								
引き続き、サンプル件数の確保及び利活用に向けた方策を検討・実施していく。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	DX観光客動態調査事業	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	携帯電話のGPS位置情報データを利用して、国内観光客の行動歴等を調査分析することでそのニーズを把握し、ターゲットマーケティングの展開に繋げた。				
要因分析	観光消費額の向上や滞在日数の延長につながる観光客の特性に着目した分析を行うことで、戦略的なマーケティングの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、観光客の行動歴等を調査分析する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	観光客の購買データ利活用	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	補助事業が令和4年度で終了したため、令和5年度の実績値に直接の効果はないものの、本事業で作成したキャッシュレス導入に係る成功事例集の作成・周知により行動歴・販売データのサンプル確保に一定の効果はあったと考えられる。				
要因分析	令和4年度での事業終了に伴い、本成果指標に係る実績値には含まれていない。				
対応案	本事業で作成したキャッシュレス導入に係る成功事例集について、県内のキャッシュレス決済端末機を取り扱う事業者より営業ツールの一部として活用していると聞いており、更なる周知活動等も併せて行っていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	観光客の路線バス乗降データの利活用	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	交通事業者等が実施する観光2次交通の確保に対する補助事業を実施したことにより、バスの乗降データを取得できた。				
要因分析	補助事業の実施により、サンプルの確保につながった。				
対応案	今後もサンプル確保に努め、購買データの利活用につなげていく。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-④	観光二次交通の利便性向上及び利用促進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
旅行中に利用した公共交通機関の割合	%	67.3	78.5	78.5		70.3	560.0%	目標達成
				(R4年度)				
			計画値					
			68.3	69.3	70.3			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
実績値は、令和4年度のものである。レンタカー不足などの影響もあり、旅行中に利用した公共交通機関の割合が大きく増加した。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	観光地間を結ぶバスの運行に対する補助事業を実施したことにより、レンタカー以外の公共交通機関の利用促進に寄与した。							
対応案								
引き続き、観光地間を結ぶバスの運行に対する補助事業を実施し、レンタカーに頼らない多様な交通手段の確保を図る。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	観光2次交通機能強化事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	交通事業者等が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し補助事業を実施したことにより目標値を達成できた。				
要因分析	交通事業者等が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し補助事業を実施したことが、公共交通機関を利用促進につながったと考えられる。				
対応案	引き続き、交通事業者等が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し補助事業を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	観光基盤情報の収集・整備	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	景勝地情報をオープンデータ化したことにより、交通情報と連携させることにつながった。				
要因分析	景勝地情報をオープンデータ化したことにより、交通情報と連携させることで、公共交通機関の利用促進につながったと考えられる。				
対応案	引き続き、観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	県内で実施しているMaaSの観光客への周知	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	「おきなわのりもの旅」(Webサイト)やデジタルサイネージを活用した交通情報を発信したことにより、公共共通機関の利用促進を図った。				
要因分析	「おきなわのりもの旅」(Webサイト)やデジタルサイネージを活用した交通情報を発信したことにより、公共共通機関の利用促進につながったものと考えられる。				
対応案	引き続き、効果的な交通情報を発信する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	主要観光拠点の観光二次交通の交通結節点としての位置づけに向けた取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	北谷町において、基礎調査を含めた観光2次交通結節点の実証事業を行ったことにより、公共交通機関の利用促進を図った。				
要因分析	北谷町において、基礎調査を含めた観光2次交通結節点の実証事業を行ったことにより、公共交通機関の利用促進に一定の効果があったものとする。				
対応案	効果的な実証事業となるよう取組を強化していく。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-①	MICE振興とビジネスツーリズムの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
MICE開催による経済効果（直接効果）	億円	43	249	249		604	55.1%	達成は困難
				(R4年度)				
			計画値					
			230	417	604			
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課							
達成状況の説明								
R5実績については、沖縄県MICE開催実態調査の確定を9月頃に予定している。現在、内容を精査中だが令和4年度を大きく上回るMICE開催の報告数が上がっているため、当該指標についても令和4年度よりも増加することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	コロナ禍が少しずつ落ち着き、MICEのリアル開催が増えてきたことで、令和4年度よりも増加することが見込まれる。							
対応案								
引き続き、国内外の営業を訪問やオンラインで行うことと合わせて、MICEの開催支援や受入体制強化を行い、一年を通して開催時期を分散できるようにMICE件数を平準化しながら増やしていくことを目指す。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	OCVB等と連携した国内外での誘致活動強化	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	国内外での7つのMICE商談会・見本市に参加した。また、ウェビナーや個別勉強会を実施し、沖縄でのMICE開催誘客に努めた。				
要因分析	商談会等の開催件数が前年より増えたが、参加者（旅行者・PCO）の人材不足や開催時期がMICEのハイシーズンだったこともあり、参加者が少なく、商談件数は目標値を上回ることができなかった。一方、個別のセミナー商談会（3-(2)-オ：「企業へのMICEビジネス機会の創出のための支援」の指標）については、目標値を大幅に上回ることが出来た。				
対応案	商談会限りではなく、継続的な情報発信、フォローアップが重要であるため、オンラインでのウェビナーを活用し、商談会に参加できなかった層にもアプローチを目指す。また、大都市以外でも大型案件が実施されるようになっているため、大都市以外の地域への営業活動も強化する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE開催実態調査	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	今後のMICE誘致活動及び受入環境整備のための基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態の調査を実施した。				
要因分析	MICEの受入可能性のある施設を有する企業・団体に対してMICE開催実態調査のアンケート調査を行った。調査票の記載のルール化や、回答がない企業を直接訪問するなど、回答率を上げるための取組を行った。				
対応案	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、県内MICEの開催が増えたことで、MICE事業者のアンケート回答の負担が増えており、回収率への影響が懸念されるため、システムを構築し、回答者の負担軽減、データ集計の効率化等を図る。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE誘致・開催・歓迎支援の実施（インセンティブ、コンベンション）	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	コンベンション主催者等への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援など、MICE参加者の満足度を高めるためのサポートを実施した。				
要因分析	コンベンション主催者等に対してMICE貸切バス等運行支援やコンベンション開催支援を実施した他、MICE開催時の満足度向上を目的とした、おもてなしメニューの物的支援を行った。また、コロナウイルス感染症対策として前年度まで休止していた「泡盛ブースの設置」や「空港・港湾等お出迎え」を再開した。				
対応案	学会は大学教授が主催・サポートすることが多く、大学の協力を得てポスティングによる周知を行ったところ、新規案件獲得につながったことから、国内外の学会主催者、PCO等への営業強化を目指し、大学等への定期的な訪問を行う。また、教育旅行シーズンにおいて貸切バスの確保が困難となる事例が増えているため、バス事業者、関係機関と意見交換を行い、オフシーズンへの誘導等について検討する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE振興にかかる普及啓発活動	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	MICEセミナー&商談会、沖縄MICEプロジェクトの実施に先立ち、MICEナビの事業者情報の更新を実施し、オンライン商談会での有効活用や沖縄MICEの情報発信を図った。				
要因分析	MICEナビの積極的な活用を促す取り組みを実施した。また、一般データ保護規則（GDPR）に必要な対策を講じ、適切な個人情報の取得・管理を行い、より安全・安心なサイト利用・サービス提供を実現した。				
対応案	沖縄MICE情報Webサイト「おきなわMICEナビ」は英語で海外の事業者向けに情報発信を行っているが、県内事業者の多言語対応が難しい場合が多く、情報更新が追いついていないため、人材育成研修と連動して、PR実践の一環としてMICEナビ活用や外国語版登録を組み込むことを検討する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-②	マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
1,000人以上のMICE開催件数	件	11	70	70		193	48.8%	達成は困難
				(R4年度)				
			計画値					
			72	132	193			
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課							
達成状況の説明								
R5実績については、沖縄県MICE開催実態調査の確定を9月頃に予定している。現在、内容を精査中だが令和4年度を大きく上回るMICE開催の報告数が上がっているため、当該指標についても令和4年度よりも増加することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	コロナ禍が少しずつ落ち着き、MICEのリアル開催が増えてきたことで、令和4年度よりも増加することが見込まれる。							
対応案								
引き続き、国内外の営業を訪問やオンラインで行うことと合わせて、MICEの開催支援や受入体制強化を行い、一年を通して開催時期を分散できるようにMICE件数を平準化しながら増やしていくことを目指す。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	大型MICE施設整備の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	大型MICE施設を整備することによって、1,000人以上のMICE開催件数の増加に寄与することができる。大型MICE施設の整備に向けた取組を着実に実施している。				
要因分析	実施方針に関する条例を制定し、実施方針の公表及び要求水準書(案)を公表し、PFI事業として実施する大型MICE施設整備の取組を進めた。				
対応案	世界から選ばれるマリンタウンMICEエリアとするため、デジタル技術とMICEの連動等、他エリアとの差別化を図る必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	沖縄MICEネットワークを活用した連携強化	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	産学官で構成する沖縄MICEネットワークの既存会員の維持と新規会員獲得を図るため、イベント時のパンフレット配布(200部)、機関紙発行(2回)、メールニュース配信(27回)、コンベンションカレンダー掲載(247件)等を行った。				
要因分析	設定した目標を上回る会員数となり、受入体制強化が図られた。				
対応案	会員向けビジネス活動支援の活用実績が低調となっているが、アンケートからは、対象とする事業のイメージがしづらい、担当者に情報が届いていない等の意見もあるため、告知物や告知方法の工夫、説明会の開催を検討する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	MICE施設の管理・運営	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的なMICE受入体制の整備を推進した。国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度と併せて適切な維持管理・運営を行った。				
要因分析	昨年度に比べて催事件数は多くなっているが、コロナ化前にはまだ戻っておらず、大型の催事も増えていないため、主催者等のニーズを踏まえたさらなる基盤整備を行う必要がある。				
対応案	基盤整備の一環として通信環境の向上に向けた整備を行う。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-③	MICEを活用した関連産業の振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
MICE開催による経済波及効果（間接効果）	億円	53	296	296		744	52.7%	達成に努める
				(R4年度)				
			計画値					
			283	514	744			
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課							
達成状況の説明								
R5実績については、沖縄県MICE開催実態調査の確定を9月頃に予定している。現在、内容を精査中だが令和4年度を大きく上回るMICE開催の報告数が上がっているため、当該指標についても令和4年度よりも増加することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	コロナ禍が少しずつ落ち着き、MICEのリアル開催が増えてきたことで、令和4年度よりも増加することが見込まれる。							
対応案								
引き続き、観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進や、多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築等の取組の充実強化に努める。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-③	主な取組名	MICE開催にむけた沖縄MICEブランドの構築・県内MICE関連事業者へのSDGsやDXなどの取組の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	県内MICE関連事業者へSDGsやDX等新たな取組を浸透させるため、オンラインセミナー6回、集合型研修2回の研修を実施した。また、専門アドバイザー派遣の申請があった5事業者に派遣を行ったことで、沖縄県におけるMICE受入体制の強化に繋がり、MICE開催による経済波及効果の増大に寄与した。				
要因分析	開催した研修8回のうち、参加者人数は延べ239名となった。受講後のアンケート結果では、参加者の98%がスキルアップ・能力向上の実感を持ったとの回答を得た。				
対応案	MICE人材育成にかかるオンライン広告の情報発信を行ったところ、2週間という期間にも関わらず、複数の問い合わせを得た。MICE人材育成事業に関して、年間を通じて一定量の情報が継続して発信されることが重要と考えられるため、各事業と連携させて効率的な情報発信を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-③	主な取組名	企業へのMICEビジネス機会の創出のための支援	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	大阪、名古屋、東京において、独自のMICEセミナー&商談会を開催し、105社191名のバイヤーが参加した。				
要因分析	東京会場は台風の影響を受けながらも目標を達成することができた。				
対応案	商談会でより多くの商談ができる機会を提供するため、評判が良い事前マッチングに加え、当日参加者も商談ができるように商談会のプログラムの変更を行い、当日参加者が十分に商談できるように配慮したスケジュールにする。また、商談会に参加したセラーに対し、セミナー商談会後の事後確認を行い、商談会の効果を検証する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-①	文化芸術に関する産業の創出・振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
文化資源を活用したビジネスの自走化件数（累計）	件	6	6	10		10	133.3%	目標達成
			計画値					
			7	9	10			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
令和5年度の支援は10件で、目標を達成した。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	文化資源を活用したビジネスの自走化に向け、事業実施団体への各種支援を実施することにより目標を達成した。							
対応案								
引き続き、文化資源と様々な分野の産業を連携して新たなコンテンツを創出することで、文化を活用したビジネスの自走化実現に繋げる。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	日本遺産普及啓発事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	ホームページ等を活用し琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促し、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	琉球文化日本遺産事業については、概ね順調な進捗である。				
対応案	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	琉球料理传承人の育成・フォローアップ	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座を実施した。				
要因分析	既存の琉球料理伝承に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施し、次世代の担い手を育成することができた。				
対応案	既存の琉球料理传承人に対するフォローアップ講座のほか、担い手育成講座を実施し、新たな担い手の育成にも取り組む。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化芸術に関わる県内の団体が、琉球の文化資源を活用した新たなコンテンツを制作する取り組みを10件支援(補助)し、成果指標に寄与している。				
要因分析	文化芸術に関わる県内の団体が、琉球の文化資源を活用しコンテンツを制作する取り組みについて、補助事業実施に係るハンズオン支援、自走化に向けたアドバイザーからの助言等を行うことにより、補助事業を円滑に実施することができた。				
対応案	引き続き、文化資源を活用したビジネスの自走化に向け、団体への各種支援を実施する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-②	空手を活用した産業の創出・振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
空手を組み込んだ体験型観光プログラム や商品等の開発件数	件	0	0	3		2	300%	目標達成
			計画値					
			1	1	2			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
成果指標の令和6年度目標値2件に対し、沖縄空手映像コンテンツ制作1件、空手ツーリズム商品の造成2件に対する支援を行い、目標値を上回った。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	成果指標は計画以上に進捗している。令和6年度も空手ツーリズム商品の造成2件に対する支援を見込んでおり、目標値を大きく上回る予定。							
対応案								
令和6年度も引き続き、空手ツーリズム商品の造成2件に対する支援を行う。また、より多くの観光事業者向けに参画してもらえよう、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-②	主な取組名	他産業と連携した空手関連の商品・コンテンツ制作支援	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	映像制作会社・メディア等と連携した沖縄空手映像コンテンツ制作や沖縄空手を文化資源として活用した空手ツーリズム商品の造成を行うことで、「空手関連産業」という新たな産業の創出を図る。				
要因分析	<ul style="list-style-type: none"> ○空手映像コンテンツ制作については、事業者からの応募が少ない。 ○空手ツーリズム商品の造成について、より多くの観光事業者に参画してもらう必要がある。 				
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ○空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、事業を休止する。今後は、空手ツーリズム商品の造成に力を入れて取り組んでいく。 ○より多くの観光事業者向けに参画してもらえるよう、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。 				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-③	eスポーツを活用した新たな展開						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
大型eスポーツイベント参加者数	人	0	0	0		6,000	0%	達成に努める
			計画値					
			1,998	4,002	6,000			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
大型eスポーツイベント参加者数	人	0	0	0		30,000	0%	達成に努める
			計画値					
			9,990	20,010	30,000			
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課							
達成状況の説明								
<p>成果指標設定時において、国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を踏まえ、イベント誘致等を実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会が中止、規模縮小となったため、令和4、5年度は当該調査及びイベント誘致等を実施していない。同感染症からの回復を踏まえ、令和6年度に調査を予定しており、イベント誘致等に向けた課題整理や必要な対応の検討を行うこととしている。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑮ その他個別要因	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会が中止となり、大会の開催情報の収集が困難であること等の理由から、令和4、5年度の調査実施を見送った。同感染症からの回復を踏まえ、令和6年度に調査を実施し、必要な対応の検討を行うこととしている。</p>							

(様式3) 「成果指標」 検証票

対応案					
eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を実施し、本県におけるeスポーツイベントの開催支援を含む諸課題の整理及び必要な対応について検討を行う。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-③	主な取組名	大型eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた調査及び開催支援	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	令和5年度において、大型eスポーツイベントの開催支援を実施していない。				
要因分析	国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた開催支援の検討等に係る調査を令和4年度に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会が中止、規模縮小となったため、調査実施を見送った。				
対応案	新型コロナウイルス感染症からの回復状況を踏まえ、令和6年度に国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた調査を実施しており、本県におけるeスポーツイベントの開催支援を含む課題整理や必要な対応の検討に取り組むこととしている。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-③	主な取組名	新たなビジネスモデルの構築の可能性に係る取組の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	令和5年度において、大型eスポーツイベントの開催支援を実施していない。				
要因分析	国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた開催支援の検討等に係る調査を令和4年度に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会が中止、規模縮小となったため、調査実施を見送った。				
対応案	新型コロナウイルス感染症からの回復状況を踏まえ、令和6年度に国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた調査を実施しており、本県におけるeスポーツイベントの開催支援を含む課題整理や必要な対応の検討に取り組むこととしている。				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-④	健康サービス産業の振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
ウェルネスツーリズムを推進する観光コンテンツ開発件数（累計）	件	1	1	0		3	-100.0%	達成に努める
			計画値					
			2	2	3			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
ウェルネス関連のコンテンツ開発の申請がなかったことにより大幅遅れとなっている。								
要因分析								
類型	説明							
⑤ 周知・啓発不足等	ウェルネスツーリズムが、十分に浸透していない可能性がある。							
対応案								
ウェルネスツーリズムを推進するため、県内の実態を把握するとともに、推進に弊害となっている観光諸問題を解決する必要があることから、専門家派遣や相談窓口の設置を行うなどして、地域に根付いた取組を行う。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-④	主な取組名	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	地域観光協会等が実施するウェルネス関連のコンテンツ開発を支援することにより、開発件数の増につながることから、一定程度寄与するものとする。				
要因分析	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において、心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ開発を掲げていることを積極的に発信し、ウェルネスツーリズムの観光コンテンツ開発支援をすることで寄与していく。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ」を事例として挙げ、申請を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-④	主な取組名	観光統計実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	観光統計実態調査におけるアンケートの中で、観光目的に関する設問において、避寒や花粉症等の症状緩和を選択する項目を設けその割合を調査した。その結果を観光統計実態調査においてHP上で公表することで、ウェルネスツーリズムの促進に寄与した。				
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、ウェルネスツーリズムの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-①	スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
スポーツコンベンション開催実績	件	376	657	706		592	229.2%	目標達成の見込み
				(速報値)				
			計画値					
			448	520	592			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>令和4年度のスポーツコンベンション開催実績は651件（確定値）となった。 令和5年度のスポーツコンベンション開催実績は706件（速報値）となった。 スポーツコンベンション開催実績は、スポーツコンベンション誘致等の取組により、順調に推移している。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行等に伴い、県内におけるスポーツコンベンション開催の需要は増加傾向にあり、目標達成の見込みである。							
対応案								
<p>スポーツコミッション沖縄への問い合わせ件数が増加しており、今後は更なる増加傾向が見込まれるため、関係機関の連携を強化して受入体制を整える。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコンベンション誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの誘致に取り組むことで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	実績が認められる一方、物価高に伴う宿泊費の高騰などの影響を受けスポーツキャンプ実施経費が増加傾向にあるため、沖縄県での実施を見送るチームや団体が一定程度存在している。				
対応案	引き続き、沖縄ならではの強みを活かし、受入市町村や関連団体との連携を強化し、スポーツコンベンションの誘致拡大に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコミッション沖縄体制整備	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンションに係る相談に対応し、実施につなげることで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	物価高に伴う宿泊費の高騰などの影響を受けスポーツキャンプ実施経費が増加傾向にあるため、沖縄県での実施を見送るチームや団体が一定程度存在しているものの、開催に向けた相談は増加傾向にあり、実績につながっている。				
対応案	スポーツコンベンションの開催を一過性のものにせず、継続的な開催を支援するとともに、本県スポーツツーリズムの受入環境の構築に、引き続き取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコンベンション振興対策	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの歓迎支援等に取り組むことで、成果指標への進捗に寄与している。				
要因分析	スポーツコンベンション受入に係る気運醸成を図ることで、スポーツコンベンションの増加につながっている。				
対応案	引き続き、スポーツチームを歓迎するための各種取組を実施し、スポーツコンベンション開催の気運醸成を図る。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-②	スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数	件	23	44	61		75	108.6%	目標達成の見込み
			計画値					
			40	58	75			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>令和5年度の実績は61件となっており、計画値を上回り目標達成の見込みとなっている。沖縄県が実施した事業のほか、民間法人においてもマッチングの機会創出に取り組んでおり、計画の進捗につながっている。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	目標値を達成するため、引き続き各種取組を推進するとともに、民間法人の動向についても、更なる調査・研究を進める。							
対応案								
<p>民間法人の取組について情報収集に努めるとともに、県が実施する各種施策との連携により、スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開を推進する。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっており、目標値を上回っていることから、成果指標の進捗に寄与している。				
要因分析	スポーツと各種産業が連携した取組を支援することにより、県内事業者のスポーツビジネスへの参画を促し、新たなビジネスマッチングの創出につながっている。				
対応案	今後は取組の拡充に取り組み、スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開を推進する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツ関連産業の展示会誘致・開催	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	令和5年度はスポーツ関連産業の展示会が開催されておらず、成果指標の進捗への寄与は限定的である。				
要因分析	これまでスポーツ関連産業の展示会誘致について働きかけており、令和5年度は開催がなかったが、次年度にスポーツ関連産業の展示会1件の開催予定がある。				
対応案	展示会誘致においては、主催者の意向が重要であることから、関係機関との連携をさらに強化し、引き続き働きかけを行う。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツマネジメント等人材育成	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっているものの、制度設計を行っている段階であり、成果指標の進捗への寄与は限定的である。				
要因分析	取組の具体化や予算措置に向けて、制度設計を行っている段階である。				
対応案	持続的なスポーツ関連産業の発展を牽引するには、中核となる地域スポーツコミッションの人材育成が重要であることから、必要な予算措置や取組に向けて検討を進める。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-③	スポーツ資源を活用したまちづくり						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）	人	10,831	78,467	50,201		53,994	136.7%	目標達成の見込み
				(速報値)				
			計画値					
			25,204	39,621	53,994			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>令和4年度のスポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は、47,322人（確定値）となった。 令和5年度のスポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は、50,201人（速報値）となった。 スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は、スポーツコンベンション誘致等の取組により、順調に推移している。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	沖縄県内におけるスポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は増加傾向にあり、目標達成の見込み							
対応案								
<p>スポーツコンベンションの開催実績の増加に伴い、スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）も増加が見込まれるため、関係機関の連携を強化して受入体制を整える</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進により観客動員数が増加することで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	県外からの誘客については、県内プロスポーツチーム等のアウェイゲームにおいて、ホームゲームへの誘客促進を図るプロモーションを行った。				
対応案	競技によって観客動員数に差が生じるため、当該競技における効果的な対策の検討が必要となっている。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催により、成果目標の進捗に寄与する。				
要因分析	FIBAバスケットボールワールドカップ2023沖縄グループステージには約12万5千人が訪れ、開催地支援協議会（県、沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、県教育庁、FBWC2023日本組織委員会等で構成）による機運醸成、輸送や渋滞対策、警備体制の構築、ボランティアの募集・配置、ファンゾーンの設置や離島を含めた1万人の子ども達招待など、様々な取組を実施し、大会の成功に寄与することができた。				
対応案	今後は、FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催により得られたノウハウ、構築されたレガシーをいかに活用し、継続的な国際大会の誘致等につなげることが課題となる。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	スポーツイベント開催支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツイベントの開催を支援することにより、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	新規のスポーツイベントに対しては補助率を高く設定するなど、仕組みを工夫することにより、実績の増加につながっている。				
対応案	今後は、支援したスポーツイベントの自走化・定着化を図るため、事業者の実施体制の強化等が必要となっている。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-①	スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県立社会体育施設の利用者数	人	267,379	495,684	449,067		671,000	83.7%	目標達成の見込み
			計画値					
			401,785	536,594	671,000			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>奥武山総合運動場体育施設について、個人の利用者数は大幅に増加しているものの、専用利用による大規模イベント等の件数が減少したことにより、計画値に対し約8,700人下回る結果となった。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑮ その他個別要因	<p>指定管理者による施設の管理運営は適切になされており、ほとんどの施設で個人での利用者数は増加しているが、利用者数に大きく影響する専用利用については、天候や他のイベントとの重複等の影響もあり、計画値までには至らない結果となった。</p>							
対応案								
<p>沖縄県スポーツ・レクリエーション祭等の県事業などでも積極的に奥武山総合運動場の専用利用を推進する。また、施設利用者の利便性向上を図るため、オンライン予約を可能とするシステムを導入するなど、引き続き令和6年度目標値の達成に向けた取組に努める。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立社会体育施設の計画的な改修・修繕	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	奥武山水泳プール飛込台補修工事、県立武道館外壁補修工事、ライフル射撃場屋根葺替等工事など5件の工事を実施し、施設利用者の安全確保や快適なスポーツ環境の整備が図られたことで、成果指標の達成に寄与している。				
要因分析	県立社会体育施設の機能維持・向上を図ることで、施設利用者のニーズに対応し、利用者数の増加につながっている。				
対応案	今後も施設利用者の安全で快適な環境整備に向けて、沖縄県スポーツ施設に係る個別施設計画に基づき、引き続き計画的・効率的に整備していく必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立社会体育施設の環境整備や接客対応の充実、利用条件の改善、教室・プログラムの充実	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	指定管理制度を導入し、基本協定書に基づき施設の維持管理や運営、スポーツ教室の開催など民間のノウハウを活用しながら適切に実施されており、成果指標の達成へ寄与している。				
要因分析	利用者へのアンケート結果においても、スポーツ教室等のプログラムや接客対応など各項目で高い満足度を維持しており、利用者数の向上につながっている。				
対応案	多様なニーズに対応できるよう、引き続き指定管理者や関係機関と連携し、予約システムの導入など利用者の利便性向上に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立学校体育施設の有効活用	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	新たに県立学校の体育施設の開放が可能となった学校があり、利用団体も増えたことから、成果指標の達成に寄与している。				
要因分析	身近に利用できるスポーツ活動の場所が増えたことで、社会体育施設利用の機会が広がり、利用者の増加につながっている。				
対応案	学校体育施設の開放校の増加に向け、引き続き各学校との課題解決に向けた個別調整や利用団体への周知を推進する必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-②	県民の競技力向上・スポーツ活動の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県出身日本代表スポーツ選手累計（国際大会）	名	133	151	171		190	100.0%	目標達成
			計画値					
			152	171	190			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>令和4年度までの累計から20名増加し、目標達成の見込みとなっており、沖縄県スポーツ協会の競技力向上対策事業によりトップアスリートの育成につながっていると考える。主な競技はウエイトリフティング、ハンドボール、レスリング等。</p>								
要因分析								
類型	説明							
② 関係機関の調整進展	沖縄県スポーツ協会と連携し、競技力向上対策を進めている。同協会が設置する競技力向上対策委員会において、基本方針を毎年度策定し、強化事業を進めている。							
対応案								
<p>これまでの取り組みの検証を行い、令和16年度の国民スポーツ大会開催を見据え、一貫した競技力向上対策の検討や競技の普及啓発などについて、競技力向上対策委員会、指導者育成委員会、スポーツ医科学委員会等との連携を図る。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	県民体育大会運営支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県民体育大会は本県の全体的な競技力向上につながる重要な大会であり、トップアスリートの育成に寄与する。				
要因分析	市郡対抗で行われる本大会は、各地区で選抜された選手同士の対戦や交流を通して、競技力向上および競技の普及につながっている。				
対応案	大会を開催するだけでなく、選手の育成につながるような取り組みを各競技団体と連携し、検討する必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	各競技団体選手育成等への取り組み支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	競技団体が主体となり、中長期的な選手の育成・強化に取り組むことにより、競技力向上に寄与している。				
要因分析	各競技団体の課題に応じた選手育成が行われるため、照準を絞った具体的な取り組みにより競技力向上につながっている。				
対応案	本事業に参加していない他の競技団体についても、積極的に活用できるように支援や周知が必要である。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	トップレベル選手育成支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	世界選手権等の国際大会に出場する本県日本代表選手17名(8競技)に対して、奨励金を交付し、支援を行った。				
要因分析	本県のワールドアスリート育成強化事業において、国際大会で活躍する選手を支援しており、日本代表選手の選出につながっている。				
対応案	今後も継続して国際大会で活躍する県出身選手の育成強化を図るため、支援の拡充について検討する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-③	県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
スポーツ実施率	%	58.3	48.1	46.1		62.2	-469.2%	達成に努める
			計画値					
			59.6	60.9	62.2			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>令和5年度の成人・週1回以上のスポーツ実施率は46.1%となっており、令和5年度計画値60.9%との比較では14.8ポイント下回り、達成状況は75.7%に留まっている。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑮ その他個別要因	<p>スポーツ実施率調査によると、スポーツ実施のために必要な条件として、「体力的に自信が持てれば」や「生活費に余裕ができれば」といった内生的な要因によるものも多い。</p>							
対応案								
<p>スポーツ・レクリエーション祭については、県民の誰もがより気軽に多くの競技に参加できるよう、関係団体と連携を図り、開催方法を検討し、県民のスポーツ活動への参加を促す。また、県立学校体育施設開放事業についても、開放校や参加団体の拡充に向け各学校や関係者との連携を強化する。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	女性のライフステージに応じたスポーツ参加の促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	女性のスポーツ実施率の向上は成果指標へ寄与するが、近年下降傾向にある。				
要因分析	スポーツ実施率調査によると、女性がスポーツを実施しなかった理由として、「仕事や家事が忙しいから」が一番多く、男性と比較して「面倒くさいから」「子どもに手がかかるから」「運動・スポーツが嫌いだから」との理由からスポーツの実施に至っていない。				
対応案	女性がより気軽に多くの競技に触れることができるような沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の開催方法を検討し、関係機関とも連携しながら女性のスポーツ参加を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	県民の誰もがスポーツに親しむことができる機会の創出	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県民の沖縄県スポーツ・レクリエーション祭への参加は、成果指標に寄与するものの、実績が目標の半数程度にとどまっている。				
要因分析	沖縄県スポーツ・レクリエーション祭について、コロナ禍以前は約40種目で開催されていたところ、コロナ禍が明けた令和5年度でも26種目の開催にとどまっている。小規模の団体や大会にとってはコロナ禍による中止の影響（主催団体の一時的な解散等）がより大きく、参加者数は目標値に対して大幅に進捗が遅れる状況となっている。				
対応案	誰もが気軽に参加できる項目を取り入れた開催方法を関係機関と連携して検討する。また、SNSなど新たな手段による情報発信の強化に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	県立社会体育施設におけるスポーツ・レクリエーション教室の開催	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	開催件数は目標値以上の実績となり、スポーツ・レクリエーション教室への参加がスポーツ実施の契機となることで成果指標へ寄与している。				
要因分析	これからスポーツをはじめたいと考えている人を対象としたスポーツ教室も開催し、参加者から定期的な開催の要望があるなど、スポーツ実施率の向上につながっている。				
対応案	スポーツ実施率の低い層からのニーズを踏まえ、引き続き指定管理者との連携を強化しながらターゲットを絞った企画にも取り組む。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ア-①	国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）	件	16,015	27,442	27,054		31,015	110.3%	目標達成
			計画値					
			21,010	26,020	31,015			
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課							
達成状況の説明								
JICAや他事業等と連携し、各種イベントやお知らせ等を多言語にてWEB・SNS等により情報発信した結果、目標を上回った。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	JICAを含めて関係する事業と連携して掲載記事を増やしたことからそれに伴いアクセス数も増えたと思慮される。							
対応案								
引き続き、関係機関と連携を図りながら、ウチナーネットワークの継承発展に取り組んでいく必要がある。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	ウチナーネットワークの強化推進	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	国内外のウチナーンチュとの交流に関する取組について、適宜、情報発信を行った。				
要因分析	県内外の関係機関と連携して様々な多元的交流や情報発信を行ったことが、アクセス数の増加に繋がったと思慮される。				
対応案	引き続き、県内外の関係機関と連携し、ウチナーネットワークの強化に向けて取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	ウチナージュニアスタディー事業	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	ウチナージュニアスタディー参加事業者のウチナーネットワークへの関心の高まりにより、アクセス数の増に寄与した。				
要因分析	コロナが明け、対面実施を再開し、従来実施と同規模の交流が再開されたことも、アクセス数の増に繋がったと思慮される。				
対応案	引き続き、同事業でウチナーネットワークの重要性等を伝え、同ネットワークへの関心を高めていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	国内外の県人会との連携	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	南米、アジア、北米キャラバンの実施、国内外周年記念事業への参加を通して、国内及び海外県人会と母県沖縄のつながりを再確認する等、ウチナーネットワークへの関心の高まりによりアクセス数の増に寄与した。				
要因分析	対面交流が再開し、従前の交流が可能となったことが、アクセス数の増に繋がったと考える。				
対応案	引き続き、同取組においてウチナーネットワークの重要性を伝え、同ネットワークへの関心を高めていく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業	対応課	生涯学習振興課
成果指標への寄与の状況	海外等での移民資料の収集、移民ルーツ調査、企画展、講演会の実施、渡航記録データベースの公開等により、成果指標に寄与した。				
要因分析	当事業の上記の取り組みは、「世界のウチナーネットワーク」サイトにてサイトリンクなどによる周知を図っており、成果指標の推進に繋がった。				
対応案	引き続き、「世界のウチナーネットワーク」サイトにてサイトリンクほか、関係機関との連携を喬氏、成果指標の目標達成に努める。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-イ-①	在住外国人等が住みやすい地域づくり						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
在留外国人数	人	19,839	21,792	25,447		21,220	608.9%	目標達成
			計画値					
			20,299	20,760	21,220			
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課							
達成状況の説明								
新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、入国制限が緩和され、海外との往来が活発化してきたこと等により、目標値を上回る結果となった。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、入国制限が緩和され、海外との往来が活発化してきたこと等により、目標値を上回る結果となった。							
対応案								
引き続き、関係機関と連携を図りながら、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組んでいく必要がある。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	在住外国人の生活支援	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	外国人が地域住民として直面する諸問題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施したことで成果指標に寄与したと考える。				
要因分析	在住外国人の生活支援を行うことで、在住外国人が県内で生活しやすい環境を整備し、在住外国人数の増加に繋がったと考える。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与に繋がるよう引き続き取組を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	リーガル・ライフサポーターの養成	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	一元的相談窓口を設置している、沖縄県国際交流・人材育成財団と相談者、関係機関の三者間において専門的な通訳者として相談者の支援対応ができる「リーガルライフサポーター」を育成することで、相談窓口の機能強化が図られ、成果指標への寄与の一因となったと考える。				
要因分析	リーガルライフサポーターの養成を行うことで、在住外国人が県内で生活しやすい環境を整備し、在住外国人数の増加に繋がったと考える。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与につながるよう引き続き取組を実施していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	災害時外国人支援サポーターの養成	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる「災害時外国人支援サポーター」を育成するための講座を実施したことが考えられる。				
要因分析	災害時外国人支援サポーターの養成を行うことで、在住外国人が県内で生活しやすい環境を整備し、在住外国人数の増加に繋がったと考える。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与に繋がるよう引き続き取組を実施していく。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-イ-②	県民の異文化理解・国際理解の促進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）	件	2,697	2,683	3,398		3,417	146.0%	目標達成
			計画値					
			2,937	3,177	3,417			
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課							
達成状況の説明								
令和4年度と比較し、多くの来場者が訪れた。								
要因分析								
類型	説明							
⑮ その他個別要因	成果指標は、コロナ禍に実施されたフェスティバルに係るHPアクセス数としたが、R5はコロナ以前と同様の来場型開催となったため、来場者の増（来場者数のみで当初の計画地を上回った）が必然的にオンラインアクセス数の増へも現れたものと思われる。							
対応案								
R5開催は、来場者3,398名及びHPアクセス数9,202件であり、来場者のみで当初の計画値を上回る結果となった。国際協力・交流への理解促進に順調に寄与しているものとする。引き続き来場者の増に向け、広報手法・時期の検証等を行っていく。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	多文化共生社会に向けた県民向けの取組	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施しており、成果指標に寄与しているものとする。				
要因分析	令和5年度は関係市町村及び在住外国人を支援している団体に対し、計2回のシンポジウム・ワークショップを開催しており、多文化共生社会の地域づくりに寄与できているものとする。				
対応案	本取組みが成果指標への着実な寄与に繋がるよう引き続き取組を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	おきなわ国際協力・交流フェスティバルとの連携	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	本取組において効果的な広報の実施を行っていることから、その実施状況が成果指標の動向に寄与しているものとする。				
要因分析	今回のフェスティバルは計画値を上回っており、効果的な広報の実施が図られたものとする。				
対応案	引き続き来場者の増に向け、広報手法・時期の検証等を行っていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	国際交流員による異文化理解促進	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	出前授業の学校数が増え、おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数の増加につながった。				
要因分析	国際交流員を県内学校等に派遣し、中学生・高校生など若い世代への国際交流への関心を高めたことがフェスティバル参加者増加に寄与した。				
対応案	今後も、国際交流員を県内学校に派遣し、若い世代への国際交流の関心を高めてゆく。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ウ-①	観光交流、経済交流等の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
MICE開催件数	件	490	958	958		1,863	51.1%	達成は困難
				(R4年度)				
			計画値					
			947	1,406	1,863			
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課							
達成状況の説明								
R5実績については、沖縄県MICE開催実態調査の確定を9月頃に予定している。現在、内容を精査中だが令和4年度を大きく上回るMICE開催の報告数が上がっているため、当該指標についても令和4年度よりも増加することが見込まれる。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	コロナ禍が少しずつ落ち着き、MICEのリアル開催が増えてきたことで、令和4年度よりも増加することが見込まれる。							
対応案								
引き続き、国内外の営業を訪問やオンラインで行うことと合わせて、MICEの開催支援や受入体制強化を行い、一年を通して開催時期を分散できるようにMICE件数を平準化しながら増やしていくことを目指す。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	各市場での誘客プロモーションの展開	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	委託事業者及び県海外事務所と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した。				
要因分析	国際線の再開に合わせて適切な市場プロモーションを実施したことで、今年度の開催件数に繋がった。				
対応案	運休が継続している路線の回復及び安定化に向けて、沖縄観光の需要を喚起するための市場プロモーションを継続して実施する必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	MICE誘致の実施（コンベンション）	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	大学などローカルホストへのサポート、学会、FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展等を行い、国内学会や国際会議の誘致・開催支援をした。				
要因分析	コンベンション主催者に対してMICE貸切バス等運行支援を36件、コンベンション開催支援17件実施した他、旅行者、PCO、MICE関連団体、大学教授等キーパーソンに対して、直接訪問に加え、オンラインコミュニケーションツールを活用して営業活動を行った。				
対応案	学会は大学教授が主催・サポートすることが多く、大学の協力を得てポスティングによる周知を行ったところ、新規案件獲得につながったことから、国内外の学会主催者、PCO等への営業強化を目指し、大学等への定期的な訪問を行う。また、教育旅行シーズンにおいて貸切バスの確保が困難となる事例が増えているため、バス事業者、関係機関と意見交換を行い、オフシーズンへの誘導等について検討する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	スポーツコンベンション誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの誘致に取り組むことで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	物価高に伴う宿泊費高騰により、合宿経費が増えるため、沖縄合宿を見送る団体も少なからず存在している。				
対応案	引き続き、沖縄ならではの強みを活かし、受入市町村や関連団体との連携を強化し、スポーツコンベンションの誘致拡大に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	海外事務所等による活動	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	物産展等への出展支援、現地企業等への営業活動、県内企業の海外展開支援、情報収集、情報発信等、海外事務所の活動を実施した。				
要因分析	MICE開催の誘致を推進するため、引き続き、海外事務所等の拠点機能を生かした情報収集・発信等に取り組む必要がある。				
対応案	関係部局等との連携を強化し、引き続き、海外における県産品の販路拡大や観光誘客、国際航空路線の回復等の取組を推進する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	海外友好姉妹都市等からの留学生受入	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	令和5年度は10名の留学生を受け入れ、県内大学や研修機関に留学しており、着実な取組を進めたことにより成果指標に寄与できているものとする。				
要因分析	海外から留学生を受け入れ県内大学等で研修を実施する取組が着実に実施できたことが本成果指標にも寄与できているものとする。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与に繋がるよう引き続き取組を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	沖縄県・市町村国際交流連絡会議の実施	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	令和5年度も、市町村、各関係機関を交えての会議を開催したことから、成果指標に寄与できているものとする。				
要因分析	ウェブによる会議を実施したことで、離島市町村も参加が容易となったことが成果指標に寄与できている要因であるとする。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与に繋がるよう引き続き取組を実施していく。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ウ-②	沖縄の文化を通じた交流						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県が支援した文化交流イベントの参加者数	人	5,878	26,005	10,356		73,500	9.9%	達成に努める
			計画値					
			28,396	50,982	73,500			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
<p>新型コロナウイルスの蔓延により中止・延期となっていた各種イベントが再開されつつあり、基準値から増加したものの、計画値には満たない状況である。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	<p>新型コロナウイルスの蔓延により中止・延期となっていた各種イベントが再開されつつあるが、未だ道半ばであり、今後の情勢を注視する必要がある。</p>							
対応案								
<p>新型コロナウイルスの蔓延により中止・延期となっていた各種イベントが再開されつつある。については、イベントの周知広報に力をいれ多くの方にイベントに参加してもらう。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化体験プログラムを構築し実施することで、文化資源をアピールする契機となった。文化団体が宿泊施設等で実施する文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)の実施を4件支援した。文化団体が宿泊施設等で文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)を実施することにより、文化交流の推進に寄与した。				
要因分析	文化団体が宿泊施設等で実施する文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)の実施を支援することにより、文化交流を推進することができた。				
対応案	SNSやチラシの配布等、様々な周知活動により情報発信を強化していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業(歴史・文化ワークショップ)	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	ワークショップ等で配布するチラシやパンフレットで「琉球歴史文化の日」とその趣旨について周知・啓発することにより沖縄の歴史文化に興味を持つことにつながった。また、実際に琉球空手や琉歌等を体験することで県民の沖縄の歴史と文化への理解を深めたことにより文化交流イベントの参加者数の増加につながった。				
要因分析	「琉球歴史文化の日」とその趣旨の周知・啓発および組踊等のワークショップにより、実際に沖縄の文化に触れることで理解が深まり文化交流を推進することにつながった。				
対応案	引き続き、ワークショップ等を実施するとともに、情報発信を強化していく。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	高校生伝統芸能分野海外就業体験事業	対応課	文化財課
成果指標への寄与の状況	就業体験を通して職業理解が深まるほか、現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークの形成に寄与している。				
要因分析	研修終了後の翌年度も高文連主催の郷土芸能に関するコンテスト等へ参加する生徒も多く、郷土芸能の伝承と発展に大きく貢献している。				
対応案	引き続き、伝統芸能を活かした観光産業や歴史的・文化的施設での就業体験を実施するほか現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークを構築する。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	伝統芸能の県外公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	長野公演に151人が参加し、県外に伝統芸能の魅力発信をすることで、伝統芸能の継承と発展に寄与することができた。				
要因分析	本県と交流推進協定を締結している長野県を開催することで、長野県庁の後援により幅広い広報協力が得られたが、県人会等のない地域において集客に苦慮した。				
対応案	公演周知の期間、方法等、手段を強化し、集客につなげる。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	伝統芸能の海外公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	海外公演2公演実施し、208名を集客した。海外に伝統芸能の魅力発信をすることで、伝統芸能の継承と発展に寄与することができた。				
要因分析	1公演あたり200席を確保していたが、集客率は50%程度となった。その理由として、円安により予算が圧迫し、広報面で不十分となった。				
対応案	公演周知の期間、方法等手段を強化し、集客につなげる。				

成果指標 検証票

施策名	5-(5)-イ-①	多彩で質の高いサービスを提供できる観光産業人材の育成・確保						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
宿泊事業者（正規雇用者）一人当たりの平均年収	円	3,129,946	3,555,318	3,555,318		3,533,709	157.9%	目標達成
				(R4年度)				
			計画値					
			3,264,399	3,399,256	3,533,709			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
令和5年度の実績値においては、計画値および目標値ともに上回る実績となっており、目標を達成した。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	宿泊事業者においては、コロナ禍における離職と需要の回復に伴い、人手不足が課題となっていることから、人材確保に向け、賃金・賞与の引き上げに取り組んだ事業者が多かった。							
対応案								
観光業界においては、人手不足の影響により、需要の取りこぼしやサービスの質が低下していることから、観光業界における人材確保・定着に向け、引き続き、支援する必要がある。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	高度な観光人材の育成	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	新任層や現場リーダー層向けに、キャリアデザインやマネジメント等を習得できる研修を実施することにより、人材の定着が図られ、稼働率が上昇するとともに収益向上につながり、賃上げしやすくなることから一定程度寄与するものとする。				
要因分析	上記研修を実施することにより、人材の定着が図られ、稼働率が上昇するとともに収益が向上し、賃上げにつながっていると考える。				
対応案	引き続き、人材の定着に資する取組を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	観光人材確保に向けた支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者と求職者のマッチングを促進し、人材の確保を図ることで、稼働率が上昇するとともに収益向上につながり、賃上げしやすくなることから一定程度寄与するものとする。				
要因分析	人材確保に取り組むことにより、稼働率が上昇するとともに収益が向上し、賃上げに繋がっていると考える。				
対応案	引き続き、観光人材の確保に向け支援していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	沖縄観光受入対策事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教材配布により、県内の子供たちへ沖縄の観光資源を周知した。 ・子供たちに観光業の理解を深めるとともに、興味・関心のきっかけづくりを実施した。 上記2点を通して、今後観光業に携わる人口が増え、成果指標に寄与できると考えた。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響で学校での学習時間が限られたことにより、これまでと比べて出前講座が実施できていないことが考えられる。				
対応案	アフターコロナにおける観光客の回復が見込まれるため、教材を積極的に活用した取組を検討する。				